

第2期 京都文化芸術都市創生計画に関する取組状況(令和2年6月現在)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号 施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		1 ★「地域に根差した暮らしの文化」の振興 京都には、地域に根差した暮らしの文化が息づいており、それらをいかしたまちづくりが展開されています。暮らしの文化をいかしたまちづくりは、京都に息づく「子どもを地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」」の更なる推進にも寄与します。 本市では、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、各区の区民提案により実施する本市の支援事業のうちから「文化芸術によるまちづくり事業」を認定し、認定を示すロゴマークを掲示する取組を平成26年度から開始しています。今後、地域における文化芸術を通じたまちづくりや、おもてなしの取組などについて話し合う場も創設し、これらの取組の集大成として、「京都おもてなし百科(仮称)」を作成して、文化芸術による地域のまちづくりを進めます。	○文化庁補助事業を活用した「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進事業の中で、区ごとの歴史や文化を紹介する冊子を発行するなど、市民が暮らしの文化に触れ、その価値を見つめ直す機会を創出した。 ○商店街情報の発信	実施済み 又は実施中	○文化庁補助事業を活用した「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進事業の中で、区ごとの歴史や文化を紹介する冊子を発行するなど、市民が暮らしの文化に触れ、その価値を見つめ直す機会を創出する。 ○商店街情報の発信
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○	○	2 ★伝統産業品等を暮らしの中で活用し子どもの感性を“はぐくむ”取組の推進(◎新規) 子どもの頃から伝統産業品等を暮らしの中で使う機会を創出することで、子どもたちに伝統的な本物のものの良さを伝え、感性を養うため、京都伝統産業ふれあい館等と連携し、伝統産業が暮らしの中で根付く文化を育みます。	○京都伝統産業ふれあい館に訪れた、府内外の小中学校の生徒に対して、希望制により京都の伝統工芸や伝統産業製品に関する解説を行ない、見学者の満足度を高める。 ○京都伝統産業ふれあい館のリニューアルオープンに向け新たな展示、企画を検討中	実施済み 又は実施中	○京都伝統産業ミュージアムに訪れた、府内外の小中学校の生徒に対して、希望制により京都の伝統工芸や伝統産業製品に関する解説を行ない、見学者の満足度を高める。 ○リニューアルオープンした京都伝統産業ミュージアムにて、子どもを対象とした企画展を実施予定
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		3 ★文化芸術と暮らしの関係性を再認識する取組など暮らしの文化の継承、普及の促進 京都では、暮らしの中に溶け込んでいる文化芸術の力によって、市民が美意識を培い、感性を受け継いできました。その関係が希薄になってきている今、改めて文化芸術と暮らしを結び付ける取組、例えば、町家等を活用した茶道、華道、香道等の文化を体験する機会の創出や、食文化をはじめとする京都ならではの衣食住の習慣や年中行事等を継承する取組等を実施します。	○“京都をつなぐ無形文化遺産”普及啓発事業及び“暮らしの文化はぐくみ事業”の実施 (“京都をつなぐ無形文化遺産”の5年間の成果を踏まえ、子どもたちがこれらの文化を体験できる普及啓発事業等を行う。) ・「親子で体験！京の菓子文化」(6, 10月) ・「京の食文化 朝ごはん 料理教室」(7, 9, 1月) ・「暮らしの文化フェスタ(京の地蔵盆)」イベントの実施(8月) ・「親子で体験！京のきもの&生活文化」(11月) ・「親子で体験！京料理と伝統文化」(2月) ・京菓子展(11月) ・「京の年中行事」に係る動画、コラムの定期配信 ○「京都文化カプロジェクト2016-2020」の実施 ・くらしの文化体験事業の開催(リーディング事業)(9月~10月) ・お稽古教室の情報発信(リーディング事業)(9月~) ・国際交流茶会の開催(5月)	実施済み 又は実施中	○“京都をつなぐ無形文化遺産”の普及啓発に係る取組を実施
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		4 ★「真のワーク・ライフ・バランス」の推進による地域に根差した暮らしの文化の継承 仕事と家庭生活の調和だけでなく、地域活動や社会貢献活動等に積極的に参画する「真のワーク・ライフ・バランス」を推進することによって、地域活動が活発になり、地域に根差した暮らしの文化の継承を促進します。	○「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業 「真のワーク・ライフ・バランス」について様々な方に考えていただくとともに、具体的な実践のイメージを可視化し、今後の啓発等への活用を目的として、SNS等を通じて写真を募集するキャンペーンを実施した。 また、「真のワーク・ライフ・バランス」推進を目指す企業や市民に向けた総合的なポータルサイトとして開設した「京都style「真のワーク・ライフ・バランス」応援WEB」において、より一層効果的に情報を発信するため、企業向け認証制度や企業の取組の情報発信の追加などサイトのリニューアルを行った。	実施済み 又は実施中	○「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業 「真のワーク・ライフ・バランス」の写真募集キャンペーンを実施するとともに、ポータルサイト「京都style「真のワーク・ライフ・バランス」応援WEB」をはじめとした、様々な媒体や機会を活用して「真のワーク・ライフ・バランス」の推進に関する取組等を広く情報発信する。
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○	○	5 ★京都の文化、アイデンティティを大切にするための講座等の実施(◎新規) 市民が地域固有の文化を深く理解し、主体的な創造活動や文化芸術体験を行っていききっかけとなる講座を開催することにより、京都、ひいては日本の文化やアイデンティティを大切に、国内外に日本の文化を発信できる人材育成を目指します。	○大学等の資源をいかす取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供 科目提供大学:31大学・2機関 提供科目数:257科目 出願者数:1,570人 ○様々な年齢層の人に京都のくらしの文化を見て、知って、体験してもらうための取組として「京のくらしの文化体験事業」を実施	実施済み 又は実施中	○大学等の資源をいかす取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		6 ★学校給食における「和食」の充実に向けた取組の推進と情報発信 「和食」の特徴を強調した献立や、和菓子、漬物など、和食の良さを伝える食材等の提供を進めるとともに、子どもたちの発達段階に応じた学校給食の充実や「食」に関する指導の充実を図り、各種媒体を使用して、和食文化や給食献立のレシピ等の情報発信を進めます。	○「和食推進の日」及び「和(なごみ)献立」を実施(毎月1回) ○給食献立レシピをホームページで発信 ○和食の良さを伝える、家庭配布用献立表を配布 部数:55,842部(学級への掲示分含む) ○スチームコンベクションオープンの導入(5か年計画の3年目) ○子どもたちの発達段階に応じた学校給食の充実、「食」に関する指導の推進	実施済み 又は実施中	○「和食推進の日」及び「和(なごみ)献立」を実施(毎月1回) ○給食献立レシピをホームページで発信 ○和食の良さを伝える、家庭配布用献立表を配布 部数:55,857部(学級への掲示分含む) ○スチームコンベクションオープンの導入(5か年計画の4年目) ○子どもたちの発達段階に応じた学校給食の充実、「食」に関する指導の推進

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1 方向性3	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する 文化的景観の保護と継承等 文化財を守り活用する 景観を保全し再生する	○		7	★「元」「目」「音」「香」などで彩られた五感で感じる京都の景観の継承と活用 京都には、そこで暮らす人々の生活や生業、風土により創り上げられている文化的景観が数多く存在しています。五感で感じるもの全てが景観を構成している要素であり、その土壌が京都の文化を育てています。 岡崎地域が「重要文化的景観」に選定されたように、国の制度も活用しつつ、五感で感じられる京都の景観を継承し、まちづくりにいかします。	○京都マラソンの開催(コース周辺に7つの世界文化遺産等) ○『京都の文化的景観調査報告書』の刊行	○京都マラソンの開催(コース周辺に7つの世界文化遺産等) ○『京都の文化的景観 調査報告書』にまとめた市内の主な文化的景観について、HP等を通じて周知を図る。	
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する			8	・京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食文化の普及・啓発	○ユネスコ無形文化遺産登録された和食を代表する京料理等、京の食文化を体感していただき、健全な食生活の実践につなげていただくことを目的に、「京の食文化ミュージアム・あじわい館」を設置し、市場の新鮮な食材を活かした料理教室や、食文化についての展示や講演会等を実施した。 ・あじわい館来館者 32,178人 ・料理教室実施回数 94回 ・講演会実施回数 8回 ○食文化に関する情報発信事業の実施 ・食の海援隊・陸援隊会員数 1,719人 ○“京都をつなぐ無形文化遺産”普及啓発事業及び“暮らしの文化はぐくみ事業”の実施 ・「親子で体験！京の菓子文化」(6, 10月) ・「京の食文化 朝ごはん 料理教室」(7, 9, 1月)	実施済み 又は実施中	○ユネスコ無形文化遺産登録された和食を代表する京料理等、京の食文化を体感していただき、健全な食生活の実践につなげていただくことを目的に、「京の食文化ミュージアム・あじわい館」を設置し、市場の新鮮な食材を活かした料理教室や、食文化についての展示や講演会等を実施する。 ○食文化に関する情報発信事業の実施 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、料理教室及び講演会は9月末まで中止予定。10月以降は未定。 ○“京都をつなぐ無形文化遺産”の普及啓発に係る取組を実施
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する			9	・子どもから大人まで、市民が京都の歴史や文化に触れ、京都の魅力を体験できる機会の創出と発信(市民による京都の魅力再発見事業)	市内の世界文化遺産の寺院・神社等をはじめ、京都仏教会や京都府神社庁の協力を得て、冬休みの期間中に小学6年生が世界文化遺産を見学できる「京都再発見帖」を発行した。	実施済み 又は実施中	子どもから大人まで、市民が京都の歴史や文化に触れ、京都の魅力を体験できる機会の創出と発信(市民による京都の魅力再発見事業)
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する	○		10	・小学校における生け花体験や花育活動、公共施設等での飾花を通じた花き文化の振興(◎新規)	○水道水・雨水で花いっぱい！ ○「京の花」物語(花き品評会・プリザーブドフラワーコンテスト)(4月)	実施済み 又は実施中	○水道水・雨水で花いっぱい！を継続実施 ○市役所庁舎等での花き展示
方向性1	暮らしの中に根付いた文化を楽しみ、継承する			11	・京都市学校歴史博物館における教育・人づくりにかけた町衆文化の継承と発信	○常設展・番組小学校創設150周年記念特別展(全5回)・企画展(年2回)等の実施	実施済み 又は実施中	○常設展・企画展(年4回)等の実施
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く	○		12	★華道、茶道、香道をはじめとする伝統的な文化芸術から現代芸術までの幅広い芸術家を小中学校等へ派遣する「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」の実施 京都の文化芸術を支え、継承と創造をしていくためには、感性豊かな子どもの頃から、質の高い文化芸術作品にできるだけ多く、直接触れることが大切であり、引き続き、文化芸術に関わる講話や実技指導、ワークショップ等を行う「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」を実施します。	○「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」を46箇所ですべて実施。令和元年度も茶道・華道等の講義数を更に充実して実施した。 ○和装(R1年度:38校)、古典文学(R1年度:8校)、日本舞踊(R1年度:5校)、茶道(R1年度:7校)といった伝統文化に係る様々な分野の専門家を学校に派遣。 ○市立小学校32校、市立中学校16校において茶道(小学校)、華道(中学校)の体験活動を実施。(市立小・中学校のすべての児童生徒が体験できるよう、令和元年度から段階的に実施校を拡大。) ○中学生の能楽大連吟～未来～を実施予定 能楽師を講師に迎え、中学生の希望者を対象に、能「高砂」の「謡」の稽古を行い、稽古の成果発表として、シテ方、ワキ方、囃子方、地謡も加わった本格的な能楽「高砂」に「謡」の合唱の形で参加し、能楽の舞台を披露した。	実施済み 又は実施中	○「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」を実施予定(実施箇所等未確定) ○引き続き、和装、古典文学、日本舞踊、茶道といった伝統文化に係る様々な分野の専門家を学校に派遣し、子どもたちが日本の心を伝える伝統文化や古典に親しみ、その振興に資する取組の充実を図る。 なお、令和元年度から3か年計画で実施することとしている全小学校での茶道体験及び全中学校での華道体験について、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業に伴う教育課程の見直しなどが必要となるため、令和4年度までに全校実施を実現できるよう計画的に取り組んでいく。 ○中学生の能楽大連吟～未来～を実施予定 能楽師を講師に迎え、中学生の希望者を対象に、能「高砂」の「謡」の稽古を行い、稽古の成果発表として、シテ方、ワキ方、囃子方、地謡も加
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く	○		13	★「ほんもの」の魅力が伝わる場所での公演に触れる機会の創出 「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」の体験等を踏まえ、「ほんもの」の魅力が伝わる場所、伝統的な和の空間(能楽堂、寺院、神社等)で、子どもたちが伝統的な文化芸術の公演を鑑賞する機会を創出します。 また、美術館やコンサートホール、劇場等の場所での子どもたちへの鑑賞機会の提供を推進します。	○「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」を令和2年2月に実施し(2日間、4公演)市内の中学校14校が参加した。 ○引き続き、和装、古典文学、日本舞踊、茶道といった伝統文化に係る様々な分野の専門家を学校に派遣し、子どもたちが日本の心を伝える伝統文化や古典に親しみ、その振興に資する取組の充実を図る ○「KCH的クラシック音楽のススメ」を実施(7/20 494名) ○幼児のためのポジティブオルガンの体験講座を実施(6/11～12 121名) ○ロームシアター京都事業として、小学生を対象としたオペラ公演「子どものためオペラ」を開催	実施済み 又は実施中	○「伝統公演授業ようこそ和の空間」を実施予定 ○“京都をつなぐ無形文化遺産”の普及啓発に係る取組を実施 ○京都コンサートホール ・「KCH的クラシック音楽のススメ 第2回」を実施(中止) ・幼児のためのポジティブオルガンの体験講座を実施(中止)
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			14	・子どもたちがものづくり文化に触れる機会の創出	○京都モノづくりの殿堂・工房学習…市立小学校159校(153回)と総合支援学校5校(5回)、計164校(158回)9,701名参加。 ○殿堂の一般公開…延べ1,967名が来館。 ○京少年少女モノづくり倶楽部…3,795件の会員登録・185団体563件の講座情報を発信。 ○第14回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテスト グランプリ…小学校3～6年生441名が参加。	実施済み 又は実施中	○殿堂の一般公開の実施 ○京少年少女モノづくり倶楽部…更なる登録会員数及び講座数の拡充。 ○第15回「至高の動くおもちゃづくり」トイ・コンテスト グランプリの開催 ※新型コロナウイルス感染症の流行に伴う対応として、令和2年度の京都モノづくりの殿堂・工房学習は中止。
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			15	・京都市内の小中学校に伝統産業職人を派遣し、生徒が匠の技に触れる、制作体験・実演教室の実施	○小・中学校へ派遣し、伝統産業の実演や体験事業を実施(9月～2月) ・雇用人数402人 ・参加者:小中学校34校 2350人	実施済み 又は実施中	○小・中学校へ派遣し、伝統産業の実演や体験事業を実施予定

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			16	・文化芸術団体との連携による子どものための各種芸術体験教室等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み芸術体験教室(7~8月)を実施 ※藝文京芸術教室は3月に実施予定だったが、コロナウイルスの影響により中止 ○市民狂言会夏休み特別編を実施予定 ○こどものためのオーケストラ入門コンサート「オーケストラ・ディスカバリー2019」を実施(6/16, 9/1, 11/4 4事業4公演(うち1事業1公演中止)4,735名) ○ロームシアター京都事業として、ファミリー向け事業「プレイ!シアターin Summer」を実施(8/4~18 13,048名) ○地域文化会館での取組 <ul style="list-style-type: none"> ・呉竹文化センターで、南インド古典舞踊体験等のワークショップを開催(9/7 30名) ・東部文化会館で、アニメーション製作体験のワークショップを開催(8/21 43名) ・西文化会館ウエスティで、小学生を対象としたバックステージツアー等のワークショップを開催(8/18 21名) ・右京ふれあい文化会館で、謡やお囃子の体験を交えた能楽の鑑賞会を開催(1/11 25名) 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み芸術体験教室・藝文京芸術教室[ゲートウェイ](8月)(コロナウイルスの影響により中止) ○市民狂言会夏休み特別編実施未定 ○こどものためのオーケストラ入門コンサート「オーケストラ・ディスカバリー2020」を実施(6月(中止), 9月, 11月, 3月) ○ロームシアター京都事業として、ファミリー向け事業「プレイ!シアターin Summer」を実施(8月)
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			17	・体験によって興味を持った子どもたちが継続的に伝統的な文化芸術を学ぶための教室の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な年齢層の人に京都のくらしの文化を見て、知って、体験してもらうための取組として「京のくらしの文化体験事業(仮称)」を実施 ○茶道、華道、書道などのお稽古教室やイベントの情報を発信するポータルサイト「まちじゅうお稽古」を開設 	実施済み又は実施中	○ポータルサイト「まちじゅうお稽古」の運営
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			18	・「みやこ子ども土曜塾」など親子で一緒に文化芸術を体験できるプログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ぐるみによる京都ならではの様々な体験活動の場を提供するため、広報紙「京都はぐくみ通信/GoGo土曜塾」年6回、各号165,000部発行し、市内の小中学生をはじめ、未就学児童にも幅広く配布。加えて、土曜塾ホームページからも登録事業の情報を発信。 	実施済み又は実施中	○市民ぐるみによる京都ならではの様々な体験活動の場を提供するため、広報紙「京都はぐくみ通信/GoGo土曜塾」及びホームページにより、引き続き情報発信をする。京都市の伝統芸能、文化の発信にも積極的に取り組み、情報を掲載していく。
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			19	・芸術系高校をはじめ市立高等学校等における特色ある文化芸術教育や文化体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○銅駝美術工芸高校「第2回所蔵作品展」を御池ギャラリーで実施(7月) ○銅駝美術工芸高校「美工作品展」を日岡デザイン博物館・御池ギャラリーで実施(10月) ○京都堀川音楽高校「オーケストラ定期演奏会」を京都コンサートホールで実施(7月) ○京都堀川音楽高校と城巽地域との共催による「城巽音楽フェスティバル」を実施(10月) ○【全市立高校】「茶道を中心としたおもてなし事業」による茶道体験。和装着付け実習。座禅体験会(7月)、能楽体験会(11月) 以下、その他の主な取組予定 【堀川高校】祇園祭の山鉾巡行等のボランティア参加(7月) 【日吉ヶ丘高校】東福寺での坐禅体験(10月) 【堀川音楽高校】外部講師の招聘や演奏体験を含む邦楽教育の充実(6月) 【西京高校】能楽交流鑑賞会(12月) 【紫野高校】今宮神社「やすらい祭」ボランティア参加(4月) 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> 【全市立高校】※コロナウイルスの影響でいずれも時期未定「茶道を中心としたおもてなし事業」による茶道体験。(一部高校除く)座禅体験会、能楽体験会、和装着付け実習 以下、学校別の取組予定 【堀川音楽高校】外部講師の招聘や演奏体験を含む邦楽教育の充実 オーケストラ定期演奏会・ピアノコンサート・卒業演奏会の実施 城巽地域との共催による「城巽音楽フェスティバル」を実施 【日吉ヶ丘高校】東福寺での坐禅体験、英語で茶道体験・合気道体験・落語体験 【西京高校】能楽交流鑑賞会 【銅駝美術工芸高校】美工作品展・アートフロンティア展の実施
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			20	・「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定」や「中高生」による「京都・観光文化検定試験3級」チャレンジ事業」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定」に係る取組基礎・発展コースを10~11月に実施。(約20,000名が受検) ○市内在住・在学の中学生及び高校生に京都商工会議所主催「京都・観光文化検定試験3級」の受験機会を提供(12月)。 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史都市・京都から学ぶジュニア京都検定」に係る取組基礎・発展コースを10~11月に実施予定。(約21,000名が受検予定) ○市内在住・在学の中学生及び高校生に京都商工会議所主催「京都・観光文化検定試験3級」の受験機会を提供予定(12月)。

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			21	・京都市ジュニアオーケストラ・京都市少年合唱団の運営や地域文化会館における教育プログラムの実施等、子どもの音楽文化の振興・普及を図る取組の推進	○京都市ジュニアオーケストラ ・10歳から22歳までの京都市在住・通学の青少年を対象に、オーディションにより選抜された106名により構成。年間を通じて練習し、右京ふれあい文化会館で来日中のライブツィヒ ユース シンフォニー オーケストラとの合同演奏会を開催(7/18 400名)、第15回京都市ジュニアオーケストラコンサートを開催(1/26 1,346名) ○京都市少年合唱団の運営 ・小学4年生から中学3年生まで200名を超える団員が在籍し、毎週土曜日に練習を実施。第70回定期演奏会の開催のほか、「大阪フィルハーモニー交響楽団 新春コンサート」などの様々な演奏会への出演し、アメリカの少年少女合唱団との交流や病院訪問演奏を実施予定 ○小学生のための音楽鑑賞教室 ・1/27～31に実施。10,860人が鑑賞。 ・桂坂小学校にてカザラッカコンサートを開催し、楽器の紹介・演奏・指揮者体験を実施(9/7) ○地域文化会館での取組 ・各文化会館のパートナー団体による、子どもたちへの「教育プログラム(ワークショップ等)」を実施(5館合計11回 1,979名)	実施済み 又は実施中	○京都市少年合唱団の運営 ・小学4年生から中学3年生まで200名を超える団員が在籍し、毎週土曜日に練習を実施。第61回修了演奏会の開催などを実施予定 ○小学生のための音楽鑑賞教室 ・1/27～29、2/1～2に実施。(新型コロナウイルス感染症対策の視点から、実施方法等を検討中。) ○市立芸大での取組 ・西文化会館で、地域の方をはじめとする市民の皆様気軽に足を運んでいただける無料コンサートを開催(11月) ※6月はコロナのため中止 ・京都市北文化会館を会場に、毎回一つの専攻がプロデュースするコンサートを開催(11月、2月) ・9月開催の桂坂小学校でのカザラッカコンサートはコロナのため中止。 ○こどものためのオーケストラ入門コンサート「オーケストラ・ディスカバー2020」を実施(6月(中止)、9月、11月、3月) ○ロームシアター京都事業として、ファミリー向け事業「プレイ！シアターin Summer」を実施(8月) ○地域文化会館での取組 ・東部文化会館で、アニメーション製作体験のワークショップを開催(8月中止) ・西文化会館ウエスティで、小学生を対象としたバックステージツアー等のワークショップを開催(8/9 中止)
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			22	・地域の文化団体等が子どもたちに民俗芸能や、邦楽、邦舞等の伝統的な文化芸術を体験、習得させ、次代に継承するための取組の促進	○伝統文化親子教室事業では、特に小学校と連携した教室と、地域の伝統文化を対象とした教室の実施数の充実を図り、55団体の教室を実施する。内訳は、民俗芸能12、祭り行事1、能楽3、邦楽4、邦舞2、伝統工芸1、百人一首5、囲碁3、将棋8、華道10、茶道8、書道2、和装1、その他2である。	実施済み 又は実施中	○伝統文化親子教室事業では、特に小学校と連携した教室と、地域の伝統文化を対象とした教室の実施数の充実を図り、40団体の教室を実施する。内訳は、民俗芸能11、祭り行事1、邦楽8、伝統工芸3、百人一首2、囲碁2、将棋7、華道10、茶道6、書道2、和装2、その他2である。
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			23	・「京都・和の文化体験の日」の実施など若者を対象とした伝統的な文化芸術や伝統産業に触れる機会の創出	○「京都・和の文化体験の日」の実施(1月) ・「はじめまして日本舞踊」の開催 参加者297名 ・ワークショップの開催 参加者21名 ・情報冊子の配布	実施済み 又は実施中	・情報冊子(英語版)の制作
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			24	・青少年活動センターにおける新たな若者文化の創造と市民との相互交流を促進する事業の実施	○青少年活動センター協同事業 ・ユスカル！若者文化市 令和元年11月16日、ロームシアター京都にて開催。京都市の融合事業として、同日開催の【京(みやこ)の「わ！まつり」】に参画し、みやこめっせ(京都市勧業館)でもブース出展等を行った。参加者数5,000名(来場者・出展・出演・スタッフ含む)。 ○東山青少年活動センター事業 ・演劇ビギナーズユニット【京都舞台芸術協会との共催】 令和元年5～9月、全60回実施。参加者数17名、延べ参加者数2,635名(自主練習・公園入場者を含む)。8月31、9月1日修了公演実施。修了公演入場者数319名。 ・ダンススタディーズ1 令和元年12月～2年3月、全38回実施。参加者数11名、延べ参加者数536名(自主練習・公園入場者を含む)。令和2年2月22・23日修了公演実施。修了公演入場者数112名。	実施済み 又は実施中	○青少年活動センター協同事業 ・ユスカル！若者文化市 ○東山青少年活動センター事業 ・演劇ビギナーズユニット【京都舞台芸術協会との共催】 ・ダンススタディーズ1 ※上記いずれも、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施の有無を含めて検討中
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			25	・京都市キャンパス文化パートナーズ制度の推進	○キャンパス文化パートナーズ制度を引き続き実施 (令和元年度末時点 48大学 18,676人登録)	実施済み 又は実施中	○キャンパス文化パートナーズ制度を引き続き実施
方向性1	子どもが文化芸術に触れる機会を創出し、感性を磨く			26	・「近くて楽しい動物園」の実現に向けた京都市動物園の取組の推進	○昨年に引き続き、イベントの充実 ・ヤマネコ博覧会を実施 ・守れ！イチモンジタナゴプロジェクトを実施 ○経年劣化に伴う日よけ設備の設置	実施済み 又は実施中	○感染症対策に配慮したイベントの充実 ・ヤマネコ博覧会を実施 ・守れ！イチモンジタナゴプロジェクトを実施

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		27	★公共空間や公共交通機関を活用した文化芸術の発信 地下鉄駅構内での作品展示やバス、電車の芸術的な装飾、イベントの広告等、公共空間や公共交通機関を活用して、幅広い市民の方々に文化芸術に親しんでいただく機会を増やします。	<p>○「KYOTO駅ナカアートプロジェクト2020」の実施 令和2年3月～5月の間、京都市内の芸術系大学が地下鉄駅構内及び市バス車両に作品を展示(新型コロナウイルス感染症の影響により、開催期間を延長)</p> <p>○地下鉄構内におけるサブウェイ・パフォーマー事業の実施(通年)</p> <p>○「サブウェイパフォーマーフェスティバル」を開催(5月)</p> <p>○地下鉄北山駅に、京都コンサートホール等へ向かわれる方の高揚感を創出するため、市立大学の学生が制作した立体造形作品を展示(22年9月から常設展示。毎年入替)</p> <p>○市バスにおけるアート事業</p> <p>・KYOTO駅ナカアートプロジェクト2020において、京都嵯峨美術短期大学生がバス車両(一両)に、仏様をより身近に感じてほしいという願いから「仏さまの都めぐり」と題したアート車両を制作</p> <p>・京都精華大学、西陣織工業組合と連携して「NISHIJIN BUS」の車内西陣織の座席シートを新たなデザインで制作</p>	実施済み又は実施中	<p>○「KYOTO駅ナカアートプロジェクト2021」の実施 令和3年3月～5月の間、京都市内の芸術系大学が地下鉄駅構内及び市バス車両に作品を展示。</p> <p>○地下鉄構内におけるサブウェイ・パフォーマー事業(通年)</p> <p>○地下鉄北山駅に、京都コンサートホール等へ向かわれる方の高揚感を創出するため、市立大学の学生が制作した立体造形作品を展示(22年9月から常設展示。毎年入替)</p> <p>○市バスにおけるアート事業</p> <p>・KYOTO駅ナカアートプロジェクトにおける市バスアートの制作</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		28	★市民に周知・啓発するツール、証明書等における文化芸術の活用 市民に分かりやすく情報を提供し、興味を持って理解を深めてもらうために、消費者への注意喚起のツールとして落語を用いるなど、文化芸術の力を活用します。 また、戸籍や住民票等の各種証明書に使用している偽造防止用紙に、文化的意匠を印刷することで、京都の文化芸術に親しんでいただくための機会を増やします。	<p>○落語を採り入れた消費生活イベント「みんなと一緒に考えよう！消費者問題」の開催 日 時 令和元年11月16日(土) 場 所 ロームシアター京都 サウスホール 参加者 541名</p> <p>○ヒューマンステージ・イン・キョウトの開催 日 時 令和2年1月25日(土) 場 所 ロームシアター京都 サウスホール 内 容 テーマ「その言葉の先に何が見えますか？」 伊東歌詞太郎氏(シンガーソングライター)による 人権トーク&ライブ 全国中学生人権作文コンテスト京都大会 入賞作品朗読 四字熟語人権マンガ 表彰式&入賞作品紹介 人権擁護委員活動紹介 ほか 参加者 522名</p> <p>○四字熟語人権マンガの募集(「人権」を四字熟語等とマンガで表現した作品を募集・発信) 募集期間 令和元年7月1日(月)～10月4日(金) 応募点数 600点 入賞作品の展示 ・京都国際マンガミュージアム 令和2年2月1日(土)～28日(金) ・漢字ミュージアム 【中止】令和2年3月17日(火)～3月31日(火) →新型コロナウイルス感染拡大防止のため</p>	実施済み又は実施中	<p>○落語を取り入れた消費生活イベント</p> <p>○四字熟語人権マンガの募集(「人権」を四字熟語等とマンガで表現した作品を募集・発信)</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、△は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○	○	29	<p>★福祉施設に芸術家を派遣する等、社会的に困難を抱えている人々に対して、文化芸術の力を活用して社会参加の機会を充実する「社会包摂」の取組の推進(◎新規)</p> <p>文化芸術は、人の心を豊かにし、他者と共感し、社会的なつながりを生み出し、社会課題の解決につなげる力があります。社会的に困難を抱えている人が、文化芸術の力で潜在能力を発揮し、社会とつながること、あらゆる人がストレスなく文化芸術に親しむことなど、「社会包摂」には様々な効果が期待されています。</p> <p>具体的な「社会包摂」の取組として、社会的に困難を抱えている人々に、文化芸術に触れてもらう機会を拡充することで、社会参加の機会を増やし、その困難の緩和・解決につなげることができるよう、病院、福祉施設等に芸術家を派遣します。</p>	<p>○文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 モデル事業及び事例調査に加え、芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談事業の実施に向け、企画・検討を進めた。</p> <p>○アウトリーチ事業 ・地域文化会館5館で、市民の文化芸術活動の活性化や地域の文化芸術の振興を目的として、地域文化会館に登録している文化芸術活動団体が地域の各団体、学校、福祉施設などからの依頼によりミニコンサートやワークショップ等を実施 ・京都コンサートホールの自主事業として「Join us(ジョイナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」を実施。登録アーティストと共に市内の学校や病院・福祉施設に出向き、生演奏を届ける。(1事業1公演5講座165名) ○DV対策事業(被害者が安心して集える場づくり。1月に初釜交流会を実施)</p> <p>○ほほえみ広場 【実績】令和元年10月19日開催(来場者数 約5,500人) ○「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信として、障害のある方の文化芸術に触れ、創造する機会の創出及び障害者アート作品展の開催等に取り組む。</p> <p>【実績】 ・総合支援学校及び障害保健福祉施設への障害者芸術の専門家派遣、障害保健福祉施設におけるコーディネーター育成 ・第1回京都市障害者芸術作品展「いんぷと／あうとぷと」の開催(令和元年11月16日～同年同月24日・来場者数808人)、関連イベント(シンポジウム)の開催 ○ニート、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者への支援の実施(支援コーディネーターによる支援件数:96ケース) ○若者の職業的自立を支援する「京都若者サポートステーション」の取組の実施(職業ふれあい事業等 実施回数:267回、参加者数:811名)</p>	実施済み又は実施中	<p>○文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 モデル事業及び事例調査に加え、芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談事業を開始するとともに、文化芸術と社会課題をつなぐコーディネーターを育成するなど、文化芸術により、社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会を実現するための基盤づくりに引き続き取り組む。</p> <p>○アウトリーチ事業 ・地域文化会館5館で、市民の文化芸術活動の活性化や地域の文化芸術の振興を目的として、地域文化会館に登録している文化芸術活動団体が地域の各団体、学校、福祉施設などからの依頼によりミニコンサートやワークショップ等を実施 ・京都コンサートホールの自主事業として「Join us(ジョイナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」を実施。登録アーティストと共に市内の学校や病院・福祉施設に出向き、生演奏を届ける。(中止) ○DV対策事業(被害者が安心して集える場づくり。1月に初釜交流会を予定) ○ほほえみ広場 ○「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信として、障害のある方の文化芸術に触れ、創造する機会の創出及び障害者アート作品展の開催等に取り組む。 ○ニート、不登校などの社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子ども・若者への支援の実施 ○若者の職業的自立を支援する「京都若者サポートステーション」の取組の実施</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		30	<p>★文化芸術を通じた活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」の実現 市民一人ひとりがライフステージや状況に応じた健康づくりに取り組み、文化芸術に触れる生活を通じ、生きがいを実感しながら、いつまでも地域の支え手として活躍できる、活力ある地域社会「健康長寿のまち・京都」の実現を目指します。</p>	<p>○「健康長寿のまち・京都」の取組を更に推進するため、市民にわかりやすく、取り組みやすいものとし、より一層の市民周知を図るため、健康づくりに関する分かりやすい目標の設定及びアンケート調査を実施。</p> <p>○文化やスポーツの視点を機軸に、「いきいきポイント」「いきいきアプリ」の活用により、市民の自主的な健康づくりを促進。</p> <p>○市域での健康寿命の延伸に向けた健康づくり活動の奨励、普及、推進を図るため、「いきいきアワード2019」を実施。大賞4組と奨励賞24組(計28組)を表彰。</p> <p>○各区・支所保健福祉センターにおいて、各区・支所の課題や地域ニーズに応じた地域密着型の健康づくり事業を実施し、市民の主体的な健康づくり活動を支援。</p> <p>○京都の文化遺産をめぐるスタンプラリー機能を備えたスマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」を活用し、市民の方の主体的な健康づくりにつなげる。</p>	実施済み又は実施中	<p>○「いきいきポイント」「いきいきアプリ」の活用により、市民の自主的な健康づくりを促進する。</p> <p>○市域での健康寿命の延伸に向けた健康づくり活動の奨励、普及、推進を図るため、「いきいきアワード2020」を実施する。</p> <p>○各区・支所保健福祉センターにおいて、各区・支所の課題や地域ニーズに応じた地域密着型の健康づくり事業を実施し、市民の主体的な健康づくり活動を支援する。</p> <p>○京都の文化遺産をめぐるスタンプラリー機能を備えたスマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」を活用し、市民の方の主体的な健康づくりにつなげる。</p> <p>○京都ツーデーウォーク(寺社仏閣等の文化財をはじめ、歩いて楽しいまち・京都を発信)</p>
方向性1	市民が文化芸術に親しむ	○		31	<p>★NPO法人「障害者芸術推進研究機構」との協働による障害のある方の文化芸術活動支援 NPO法人「障害者芸術推進研究機構」との協働の下、障害のある方の文化芸術活動を支援し、様々な取組について地域・市民に対し発信していきます。</p>	<p>○天才アート企画展「2つのNAGARE」及び、天才アートライブ展「創る・奏でる・愉しむ」の共催 ○障害のある方の芸術活動の普及・啓発のためのシンポジウムの開催 ○障害者芸術推進研究機構と連携し、総合支援学校生徒・卒業生の創作活動の場の提供や活動支援等の取組を実施</p>	実施済み又は実施中	<p>○第8回天才アート京都展の共催 ○障害のある方の芸術活動の普及・啓発のためのシンポジウムの開催 ○障害者芸術推進研究機構と連携し、総合支援学校生徒・卒業生の創作活動の場の提供や活動支援等の取組を実施</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			32	<p>・本市の文化芸術関係施設における、各施設の特徴をいかした各種文化事業の推進</p> <p>○京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」でスタンプラリーや相互割引、4館連携講座を開催 ・4館連携講座「日展から生まれた京都の名作―新しい常設展に向けて」 開催時期:1月 ○京都芸術センター ・「KAC Performing Arts Program」など、各種事業を実施 ○京都コンサートホール ・京都のクラシック音楽の拠点として、海外の著名なオーケストラ公演をはじめ、国内外の著名な演奏家や京都にゆかりのある演奏家が出演する「第23回京都の秋 音楽祭」を開催(9~11月に22公演を実施。入場者数20,672名) ・市民がより気軽に音楽を楽しめる、ワンコイン(500円)の演奏会の開催や、チケット割引制度(シニア割引、学生割引、U-30割引)を運営。主催公演を対象に実施(対象外公演もあり) ○地域文化会館 ・東部文化会館で「第15回コーラスフェスティバル in 山科・醍醐」を開催(10/27 616名) ・呉竹文化センター、北文化会館で映画「ぼけますから、よろしく願います。」を上映(呉竹 4/30 790名、北 4/27 796名) ・呉竹文化センター、北文化会館で「ちょっと素敵な朝からクラシック」を開催(呉竹 6/27 551名、12/19 561名、北 10/7 388名) ・呉竹文化センターで、ホール設置のピアノを演奏できる「スタインウェイを弾いてみよう」(8/1 21名)、「くれたけロビーコンサート」(8/1 40名、11/27 45名)を開催 ・西文化会館ウエスティで「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催(5/25 94名、12/15 129名) ・北文化会館で「北区のきずなコンサート」を開催(3/8 中止) ・右京ふれあい文化会館で「あーる de 右京」(8~12月 計11回 247名)、「右京ワールド・ミュージックフェスタ2020」(中止)を開催 ○ロームシアター京都 ・共通ロビーにて「いまを考えるトークシリーズ」全3回を実施(1/11, 1/19, 3/24 178名) ・ミュージックサロンにて展示及びコンサートを実施 ・共通ロビーにて「ホリデーパフォーマンス」全4回を実施(7/14, 8/31, 10/27, 2/24 753名) ○市民活動総合センター及びいきいき市民活動センターにおいて、文化・芸術をテーマにしたイベント開催 ○人権資料展示施設を拠点とした人権文化の発信(ツラッティ千本、柳原銀行記念資料館の運営) ①ツラッティ千本 常設展 来館者数 2,609人(特別展及び企画展の来館者数を含む。) 特別展 開催期間 令和元年10月1日(火)~11月2日(土) テーマ 楽只小学校 最後の一年 来館者数 498人 企画展 開催期間 令和2年3月3日(火)~28日(土) テーマ 楽只小学校跡地を子育て・人権・文化芸術の拠点に 来館者数 51人 ②柳原銀行記念資料館 ・常設展 来館者数 3,862人(特別展及び企画展の来館者数を含む。) ・特別展 開催期間 令和元年10月9日(水)~11月9日(土) テーマ さよなら崇仁小学校~君は伊東茂光の声を聴いたか ~ 来館者数 699人 ・企画展 開催期間 令和2年3月4日(水)~29日(日) テーマ 自主映画「東九条」の世界2 ~東九条松ノ木町40番地の闘いと宇治市「ウトロ」地区~ 来館者数 250人</p>	<p>○京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」でスタンプラリーや相互割引、4館連携講座を開催 ・スタンプラリー 実施期間:10月1日~11月29日 ・連携講座「武田五一と岡崎」 実施日:2月14日 ○京都芸術センター ・「KAC Performing Arts Program」など、各種事業を実施 ○引き続き、市民活動総合センター及びいきいき市民活動センターにおいて、文化・芸術をテーマにした取組を検討する。 ○人権資料展示施設を拠点とした人権文化の発信(ツラッティ千本、柳原銀行記念資料館の運営) ○京都コンサートホール ・京都のクラシック音楽の拠点として、海外の著名なオーケストラ公演をはじめ、国内外の著名な演奏家や京都にゆかりのある演奏家が出演する「第24回京都の秋 音楽祭」を開催(9~11月(中止公演あり)) ・市民がより気軽に音楽を楽しめる、ワンコイン(500円)の演奏会の開催(中止公演あり)や、チケット割引制度(シニア割引、学生割引、U-30割引)を運営。主催公演を対象に実施(対象外公演もあり) ○地域文化会館 ・東部文化会館で「第16回コーラスフェスティバル in 山科・醍醐」を開催(中止) ・呉竹文化センター、北文化会館で映画「ばあばは、だいじょうぶ」を上映(中止) ・呉竹文化センター、北文化会館で「ちょっと素敵な朝からクラシック」を開催(呉竹 7/4(延期)、12/17, 北 10/12) ・呉竹文化センターで、ホール設置のピアノを演奏できる「スタインウェイを弾いてみよう」、「くれたけロビーコンサート」、「30周年記念事業」(中止)、民族音楽と舞踊のワークショップ(9/5)を開催 ・西文化会館ウエスティで「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催(6/13 中止, 12月) ・北文化会館で「北区のきずなコンサート」を開催(3月) ・右京ふれあい文化会館で「あーる de 右京」、「右京ワールド・ミュージックフェスタ2021」(3/14)を開催 ○ロームシアター京都 ・共通ロビーにて「いまを考えるトークシリーズ」全4回を実施予定 ・ミュージックサロンにて展示及びコンサートを実施予定 ・共通ロビー、ローム・スクエアにて「ホリデーパフォーマンス」全3回を実施予定</p>	実施済み 又は実施中	

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、△は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			33	・京都市生涯学習総合センターを活用したセミナー、コンサートの実施等による文化芸術に関する生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習ポータルサイトの充実 ○モバイル版生涯学習情報検索サイトを継続的に運用 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度のアクセス数:216,301件 ○より質の高い生涯学習事業の推進 ○各種講座等(ゴールデン・エイジ・アカデミー、アスニー・アトリエ、セミナー、コンサート、京都学を含む。)の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・京都アスニーにおいて、「ゴールデン・エイジ・アカデミー」、「セミナー」、「アトリエ」、「シネマ」、「コンサート」等の事業を随時実施 ・「古典の日記念 平安京創生館」における宮廷文化の精粹「御大礼」に関連する企画展などの開催 平安京復元模型(常設展示)製作25周年を記念した「平安京ジオラマナビ」(ARを活用したデジタルコンテンツ)を設置(8月) その他、洛星中学高等学校地理部が製作した「地形模型で見る京都盆地」展示を実施(5月～11月) <ul style="list-style-type: none"> ・「ゴールデン・エイジ・アカデミー」における ICOM京都大会特集(5月)及び 平安京復元模型25周年記念講座(6月)の実施 ・「ゴールデン・エイジ・アカデミー」スペシャルとして、文化財保護課との連携事業『祇園祭創始1150年記念講座』の実施(8月・9月) ・「古典の祭典2019」関連事業の実施(10月・11月) ・バリアフリー映画会(第4回ユニバーサル上映)の実施(2月) ・祇園祭創始1150年を記念した共催事業、アスニーシネマ「祇園祭」及び京都学講座「京都の祭り行事」の実施(2月) ・「アスニー文化祭」の開催(3月)※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○地下鉄等駅返却ポスト(市役所前、北大路、阪急烏丸)の継続運用 ○隣接自治体(宇治市、大津市)との図書館相互利用の継続実施 ○京都府立図書館へのブックメール便の巡回を継続 ○京都市立芸術大学図書館との相互貸借を継続実施 ○京都府立図書館との相互返却<返却資料お預かりサービス>継続実施 ○雑誌付録の有効活用を継続 ○図書館システムの更新による利便性の向上(希望者への返却期限通知メールの配信、検索結果画面での一部資料の書影<本の表紙画像>の表示等を継続) ○モデル小学校との連携による「調べ学習のための推薦図書」リストの作成を継続 ○ブックリサイクル全館実施(6月15日～22日、10月16日～21日、1月15日～22日) ○夏期土曜日4中央館での夜間開館の実施(7月、8月) ○京都市図書館Twitterの開設 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習ポータルサイトの充実 ○モバイル版生涯学習情報検索サイトを継続的に運用 ○より質の高い生涯学習事業の推進 ○各種講座等(ゴールデン・エイジ・アカデミー、アスニー・アトリエ、セミナー、コンサート、京都学を含む。)の見直しや新たな企画の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・京都アスニーにおいて、「ゴールデン・エイジ・アカデミー」、「セミナー」、「アトリエ」、「シネマ」、「コンサート」等の事業を随時実施予定 ・「古典の日記念 平安京創生館」における展示や展示物を活用したAR・VR、企画展などの充実 平安京の学習拠点として、人材育成や観光など幅広い活用につなげるリフレット制作 <ul style="list-style-type: none"> ・「古典の祭典2020」関連事業の実施(10月・11月) ・バリアフリー映画会(第5回ユニバーサル上映)の実施(2月) ・「アスニー文化祭」の開催(3月) ○令和3年に迎える京都アスニー開設40周年に向けての図録制作や企画展などの準備 ○地下鉄等駅返却ポスト(市役所前、北大路、阪急烏丸)の継続運用 ○隣接自治体(宇治市、大津市)との図書館相互利用の継続実施 ○京都府立図書館へのブックメール便の巡回を継続 ○京都市立芸術大学図書館との相互貸借を継続実施 ○京都府立図書館との相互返却<返却資料お預かりサービス>継続実施 ○雑誌付録の有効活用を継続 ○図書館システムの更新による利便性の向上(希望者への返却期限通知メールの配信、検索結果画面での一部資料の書影<本の表紙画像>の表示等を継続) ○モデル小学校との連携による「調べ学習のための推薦図書」リストの作成を継続 ○ブックリサイクル全館実施(10月15日～22日、1月15日～22日) ○夏期土曜日4中央館での夜間開館の実施(7月、8月) ○京都市図書館Twitterの継続運用
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			34	・京都市芸術文化協会、京都市音楽芸術文化振興財団等の文化芸術団体と連携した鑑賞・参加型事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○いけばなプレゼンテーション(6月)、京都ビッグ・バンド・フェスティバル(2月)等を実施 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○いけばなプレゼンテーション(6月)(コロナウイルスの影響によりオンラインで実施)、京都ビッグ・バンド・フェスティバル(2月)等を実施
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			35	・「文化芸術都市・京都が世界に誇るオーケストラとしてより市民に愛される京響」を目指す取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○演奏会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第633回～643回定期演奏会(4月～3月) 延べ入場者数:19,748人(3月の1公演は無観客ライブ配信、1公演は中止) ・市内文化会館等を会場とする「みんなのコンサート」全6公演(7月、8月) 延べ入場者数:2,359人 ・こどものためのオーケストラ入門「オーケストラディスカバリー」全3公演(7月、9月、12月) 延べ入場者数:4,735人(3月の1公演は中止) ・「第九コンサート」などの特別演奏会(市外公演を含む。)全7公演(4月、6月、7月、11月、12月、1月) 延べ入場者数:10,377人 など、年間93公演(うち市内65公演、市外28公演)を開催 ○練習風景公開の実施(毎月1回、定員50名) ○楽員による楽器講習会の実施(6月、10月に開催) ○福祉施設等への訪問演奏活動(5月、6月に実施) 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○演奏会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第644回～654回定期演奏会(4月～3月) ・みんなのコンサート(7月、8月) ・オーケストラディスカバリー(6月、9月、11月、3月) ・特別演奏会(市外公演を含む。) ○練習風景公開の実施(毎月1回、定員50名) ○楽員による楽器講習会の実施(5月、10月に開催) ○福祉施設等への訪問演奏活動

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			36	・文化芸術施策や施設における「ユニバーサルデザイン」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒアリンググループの設置(H27年7月～) ・京都市京セラ美術館を追加 ・文化会館等におけるヒアリンググループ設置施設におけるヒアリンググループマークの掲示の徹底 ・ヒアリンググループ啓発チラシの刷新 ○みやこユニバーサルデザイン上映補助(H20年度～) ・補助件数5件 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒアリンググループの設置(H27年7月～) ○みやこユニバーサルデザイン上映補助(H20年度～) 引き続き、市民、事業者等に文化芸術に係る「ユニバーサルデザイン」についての啓発を行う。
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			37	・京都の文化芸術活動に刺激を与え市民に親しまれる多彩な事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○円山コンサート(カントリーコンサート)を京都市主催事業として実施(令和元年10月実施) カントリーコンサート 参加者582名 ※フォークコンサートは台風により中止 ○京都学生祭典をはじめ学生の主体的活動と連携した、産業や文化の振興とまちづくりなどの推進(共生) ○ヒューマンステージ・イン・キョウトの開催(著名人によるコンサートやトーク等を中心とした人権啓発イベントを開催) 日時 令和2年1月25日(土) 場所 ロームシアター京都 サウスホール 内容 テーマ「その言葉の先に何が見えますか？」 伊東歌詞太郎氏(シンガーソングライター)による人権トーク&ライブ 全国中学生人権作文コンテスト京都大会 入賞作品朗読 四字熟語人権マンガ 表彰式&入賞作品紹介 人権擁護委員活動紹介 ほか 参加者 522名 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○円山コンサート(フォークコンサート、カントリーコンサート)を京都市主催事業として実施予定 ○京都学生祭典をはじめ学生の主体的活動と連携した、産業や文化の振興とまちづくりなどの推進(共生) ○人権資料展示施設を拠点とした人権文化の発信(ツラッティ千本、柳原銀行記念資料館の運営)
方向性1	市民が文化芸術に親しむ			38	・市民狂言会、市民寄席、京都薪能、華道京展など、市民や観光客が伝統的な文化芸術に身近に触れる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を実施。相談窓口を開設し195件の相談を受ける。公募プログラム「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」を実施し、全11件の応募から3件を採択。シンポジウム&公演「鬼と芸能：古今東西の鬼大集合」を実施。 ○京都・和の文化体験の日を実施(1月) ○市民狂言会を全3回実施(6, 8, 12月) ○華道京展を実施(4月) ○いけばなプレゼンテーションを実施(6月) ○京都薪能を実施(6/1～2日 1,033名) ○市民寄席を全5回実施予定(5/21, 7/23, 9/8, 11/26, 1/26 2,249名) ○観桜茶会を実施(4月) ○「市民煎茶の会」を実施(5月) ○二条城桜まつり2019の中で、生け花を展示 ○二条城桜まつり2019の中で、奏田楽や獅子舞が踊る大田楽を披露 ○二条城まつりの中で「市民大茶会」を実施(10, 11月) ○二条城まつり「秋季特別ライトアップ FLOWERS BY NAKED - 京都・二条城 -」の中で、『華道家元池坊』のいけばなと先進アートがコラボした作品を展示 ○二条城まつりの中で「徳川慶喜の日常を再現した茶の湯」を実施し、舞台劇の鑑賞、点心、呈茶体験を実施 ○二条城まつりの中で、煎茶道方円流による茶会を実施 ○二条城桜まつり2020の中で春乃流による日本舞踊を披露 ○二条城桜まつり2020「FLOWERS BY NAKED 2020-桜-世界遺産・二条城」の中で、写真家とコラボしたアートやインタラクティブアート等を展示 	実施済み又は実施中	<ul style="list-style-type: none"> ○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を継続して実施。 ○市民狂言会開催回数・時期検討中 ○京都薪能中止(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により) ○華道京展を実施(4月)(コロナウイルスの影響により中止) ○いけばなプレゼンテーションを実施(6月)(コロナウイルスの影響によりオンラインで実施) ○市民寄席を全5回実施予定(5, 7, 10, 11, 1月) ○二条城まつりの中で「市民大茶会」を実施(10, 11月) ○二条城桜まつり2021の中で、生け花を展示

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する	○		39	★若手芸術家やクリエイター等の市民・民間団体の活動をサポートし、異なるジャンル間のネットワークを形成するための場・機会の提供 近年、芸術家とクリエイター等の職域に境がなくなっており、むしろ異なる活動をしている人から刺激を受けることによって、文化芸術活動の精度が高められています。また、市内では、空き家や空きビルなどを活用して、アトリエやコワーキングスペースとして運営する市民・民間団体が増えています。 今後は、市民・民間団体の活動を見える化することによって、自発的な結び付きを促すとともに、京都文化芸術コア・ネットワークを軸に、異なるジャンルの活動が交流するための場・機会を増やし、ネットワークを広げるための取組を加速させます。	○東山アーティスト・プレイスメント・サービス(略称HAPS)が、京都を拠点に活動する若手芸術家等の、居住・制作環境の整備から、専門家のネットワークによる発表支援まで、幅広く総合的なサポートを行うことで、才能ある芸術家が京都に集結し、ひいては、彼らのエネルギーがまちの活力に繋がることを目指す。 ○制作室支援事業やCo-programを通して、制作・発表場所を提供するとともに、制作室連絡会や京都文化芸術コア・ネットワークなどを通じて交流を促進する。 ○市内のシェア・コワーキング運営者を集めたミーティングを通じて、プラットフォームへの参画を促進するとともに、創業関連イベント等における積極的な周知などを通じて、プラットフォームの知名度向上、利用者増を目指す。	実施済み 又は実施中	○東山アーティスト・プレイスメント・サービス(略称HAPS)が、京都を拠点に活動する若手芸術家等の、居住・制作環境の整備から、専門家のネットワークによる発表支援まで、幅広く総合的なサポートを行うことで、才能ある芸術家が京都に集結し、ひいては、彼らのエネルギーがまちの活力に繋がることを目指す。 ○制作室支援事業やCo-programを通して、制作・発表場所を提供するとともに、制作室連絡会や京都文化芸術コア・ネットワークなどを通じて交流を促進する。
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			40	・芸術系NPO等との連携の促進	○京都文化芸術コア・ネットワークの中でNPO等とも連携 ○「きょうと地域力アップおうえんフェア」における文化・芸術に関わるブース等の出展(令和元年11月30日 イオンモールKYOTOIにおいて開催 800人来場)	実施済み 又は実施中	○京都文化芸術コア・ネットワークの中でNPO等とも連携 ○「きょうと地域力アップおうえんフェア」については、隔年開催であり、令和2年度は開催しない。
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			41	・京都で開催される文化芸術の事業を京都全体で一体的に発信するため、京都文化芸術コア・ネットワークを基盤とした「アートエキシビジョン・京都」の実施	○京都文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会を実施 ○京都文化芸術コア・ネットワークを基盤としたAGKサロンの開催	実施済み 又は実施中	○京都文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会を実施 ○京都文化芸術コア・ネットワークを基盤としたAGKサロンの開催
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			42	・文化ボランティア活動の機運を高める取組の推進	○文化ボランティア制度を引き続き実施。 活動事業数47事業 延べ活動日数383日 文化ボランティア活動者数延べ 1,082名	実施済み 又は実施中	○文化ボランティア制度を引き続き実施。
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			43	・市民ふれあいステージ、京都さくらパレード等の開催による市民の文化芸術活動の支援	○「市民ふれあいステージ」の開催(10月) 出演応募者数96件 ○京都さくらパレード(コロナにより中止) ○KYOTO ART BOX を継続して運用 ○市民創造ステージの開催 (呉竹 10/27 153名、西文 10/20 763名、北文 3/29 中止、右京 8/25 600名) ○ロームシアター京都 ・OKAZAKI PARK STAGEの実施予定(10/5 1,150名)	実施済み 又は実施中	○市民ふれあいステージはコロナウィルスの影響により中止 ○京都さくらパレードの開催(令和3年3月予定) ○KYOTO ART BOX を改修し継続して運用 ○市民創造ステージの開催(呉竹 10/31、西文 10/18、北文 1月) ○ロームシアター京都 ・OKAZAKI PARK STAGEの実施予定(10月)
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			44	・東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした、市民、企業等の民間団体、文化芸術団体や芸術系大学等と連携した文化芸術イベントの開催	○京都国際映画祭2019実施(10/17-20) ○京都文化芸術コアネットワーク事業を実施 ○京都文化プロジェクト2016-2020の実施 ○KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2019を開催(平成31年4月13日～令和元年5月12日) ○KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術2019の実施(令和元年10月5日～27日) ○KYOTO STEAM-世界文化交流祭-2020の開催(一部プログラムについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止または無観客等で実施し、映像等で収録)	実施済み 又は実施中	○京都国際映画祭2020実施予定(10月) ○京都文化芸術コア・ネットワーク事業を実施 ○京都文化プロジェクト2016-2020の実施 ○KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2020を開催予定(9月～10月) ○KYOTO STEAM-世界文化交流祭-の開催
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			45	・「世界遺産・二条城一口城主募金」や「京都市動物園サポーター制度」など、文化芸術を支える基金に対する市民や企業等の一層の賛同・協力の促進	○ふるさと納税寄付金 「伝統産業の担い手を応援」、「三条大橋補修・修景」等の8分野・9事業の支援のためにいただいた寄付金を財源として活用。 ○二条城 世界遺産・二条城一口募金を引き続き募集 ○動物園 市民や企業からエサ代や施設整備費等を支援いただき、これらの財源として活用していく。 ○ふるさと納税寄付金「だいすきっ！京都。寄付金」を引き続き募集	実施済み 又は実施中	○ふるさと納税寄付金 「京野菜生産者応援」・「嵐山竹林保存」・「新型コロナウイルス感染症対策支援」の3事業を応援メニューに追加し、8分野・12事業として寄付を引き続き募集する。 ○二条城 世界遺産・二条城一口募金を引き続き募集 ○動物園 市民や企業からエサ代や施設整備費等を支援いただき、これらの財源として活用していく。
方向性1	市民の文化芸術活動を応援する			46	・後援等による文化事業の支援	○後援名義使用許可を引き続き実施 ○京都市文化芸術産業観光表彰(文化芸術分野)について、有功賞4件を表彰	実施済み 又は実施中	○後援名義使用許可を引き続き実施

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と継承等 文化財を守り活用する 景観を保全し再生する	○		47	★寺社等の歴史的資産と周囲の町並みが一体となった歴史的景観の保全の推進 歴史的景観の核となる寺社等は、地域の歴史や文化を引き継ぐ大切な歴史的資産です。 平成28年度に「歴史的景観の保全に関する取組方針」をとりまとめ、景観規制の充実や歴史的資産への支援の充実、地域との協働による景観づくりの推進等の具体的施策を策定し、推進します。	○令和元年度は、以下の具体的施策の制度運用等を行った。 ・事前協議(景観デザインレビュー)制度の運用等 ・歴史的な建造物等を保全するための専門家派遣制度の実施 ・景観に関する様々な情報を共有できる「景観情報共有システム」の運用 ・事前協議(景観デザインレビュー)制度の対象となる27箇所の寺社周辺のうち、3地区を対象として歴史的資産周辺の景観情報(プロフィール)の充実に向けた取組(ワークショップ、まち歩き等)の実施 ・上記施策に関する周知、普及啓発	実施済み 又は実施中	○以下の具体的施策の制度運用等を行う。 ・事前協議(景観デザインレビュー)制度の運用等 ・歴史的な建造物等を保全するための専門家派遣制度の実施 ・景観に関する様々な情報を共有できる「景観情報共有システム」の運用 ・事前協議(景観デザインレビュー)制度の対象となる27箇所の寺社周辺のうち、3地区を対象として歴史的資産周辺の景観情報(プロフィール)の充実に向けた取組(ワークショップ、まち歩き等)の実施 ・上記施策に関する周知、普及啓発
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と継承等 景観を保全し再生する			48	・自然・歴史的景観等、美しく京都らしい景観を守るための各種制度の効果的な運用	○国や本市独自の制度の運用により、美しい自然・歴史的景観の保全、京都らしい市街地景観の整備、眺望景観の創生を図る取組を推進 ○森林・竹林の保全・再生による古都の景観向上 ○きめ細やかな建築デザインの規制・誘導による良好な市街地景観の形成 ○「まちの匠」の知恵を生かし、地域と連携しながら市民、事業者と共に取り組む民間建築物の耐震・防火化の推進。 ・「まちの匠の知恵を活かした京都型耐震・防火リフォーム支援事業」の補助内容と利用実績 補助率：耐震改修工事費用の80% 補助限度額：【木造住宅 本格改修1戸当たり100万円、簡易改修1戸当たり50万円、防火改修1戸当たり50万円】 【京町家等 本格改修1戸当たり120～300万円、簡易改修1戸当たり60万円、防火改修1戸当たり60万円】※防火改修は市が指定した密集市街地に限る。 (メニューごとに限度額有。その他要件に該当する場合、補助金の上乗せ有。)利用実績 741戸 ○京都ならではのすまいや暮らし方を学ぶ「住教育」及び子ども達が健やかに育つ住まい方等を創造する「住育」の推進 ・学校教育の場で、住教育を推進する住まいに関する授業を試行的に実施した。 ・親子向け体験講座等を計4回開催したほか、PTAフェスティバルへのブース出展を行った。 ○広沢池公園の安全対策及び景観対策に係る整備及び除草等の維持管理業務の実施 ○市内産木材の土木構造物等への積極的な活用による環境にやさしい「地産地消」の取組の強化 ○【上下水】 「哲学の道」散策路の植栽、擬木及びロープの更新	実施済み 又は実施中	○国や本市独自の制度の運用により、美しい自然・歴史的景観の保全、京都らしい市街地景観の整備、眺望景観の創生を図る取組を推進 ○森林・竹林の保全・再生による古都の景観向上 ○きめ細やかな建築デザインの規制・誘導による良好な市街地景観の形成 ○「まちの匠」の知恵を生かし、地域と連携しながら市民、事業者と共に取り組む民間建築物の耐震・防火化の推進。 ○京都ならではのすまいや暮らし方を学ぶ「住教育」及び子ども達が健やかに育つ住まい方等を創造する「住育」の推進 ○広沢池公園の安全対策及び景観対策に係る整備及び除草等の維持管理業務の実施 ○市内産木材の土木構造物等への積極的な活用による環境にやさしい「地産地消」の取組の強化 ○【上下水】 「哲学の道」散策路の植栽、擬木及びロープの更新 ○森林の保全・再生による古都の景観向上
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と継承等 景観を保全し再生する			49	・「京都市歴史的風致維持向上計画」の取組の推進	○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○第2期京都市歴史的風致維持向上計画の策定に向け、重点区域拡大のための調査検討を実施 ○無電柱化事業の推進 ○石畳舗装の補修 整備延長 140m【安井経7号線他(ねねの道)】 整備延長 320m【神幸道(工事完了)】 整備延長 380m【下河原通】 ○石畳風舗装の整備 整備延長 320m【神幸道(工事完了)】 整備延長 380m【下河原通(工事着手)】 整備延長 360m【京都日吉美山線(嵯峨鳥居本)】 整備延長 206m【御前通】 整備延長 106m【深草緯24号線(伏見稻荷裏参道)】(工事着手)	実施済み 又は実施中	○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○第2期京都市歴史的風致維持向上計画の策定に向けた手続き(市民意見募集等)を進める 【土木管理課・建設企画課】 ○石畳舗装の補修 整備延長 170m【安井経7号線他(ねねの道)】 ○石畳風舗装の整備 整備延長 106m【深草緯24号線(伏見稻荷裏参道)】(工事完了) 整備延長 155m【京都日吉美山線(嵯峨鳥居本)】 整備延長 80m【今宮門前通】 整備延長 310m【不明門通他】 整備延長 380m【下河原通(工事完了)】 整備延長 300m【高台寺南門通等】 【道路環境整備課】 ○無電柱化事業の推進

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度, 回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業, ・は推進施策, ◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性1 方向性3	文化的景観の保護と継承等 景観を保全し再生する			50	・京町家の保全・再生・活用の取組の推進	○京町家まちづくりファンドを利用した改修助成 4件 ○(公財)京都市景観・まちづくりセンター(京町家等継承ネットを含む。)との連携による官民連携での京町家の保全・再生・継承のための相談対応や普及啓発の実施 ○京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用 ○個別指定する又は指定する地区に存する京町家の改修に係る費用等に対する助成の実施 ○京都ならではのすまいや暮らし方等を学ぶ「住教育」及び子ども達が健やかに育つ住まい方等を創造する「住育」の推進 ・学校教育の場で, 住教育を推進する住まいに関する授業を試行的に実施した。 ・親子向け体験講座等を計4回開催	実施済み 又は実施中	○京町家まちづくりファンドの取組の継続 ○京町家等継承ネットによる官民連携での京町家の保全・継承のための相談対応や普及啓発の実施 ○京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用 ○個別指定する又は指定する地区に存する京町家の改修に係る費用等に対する助成の実施 ○京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の運用 ○同条例の保存活用計画作成支援事業の実施 ○歴史的建築物の建築基準法適用除外に係る専門家への意見聴取 ○京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例等の普及啓発事業の実施 ○京都ならではのすまいや暮らし方等を学ぶ「住教育」及び子ども達が健やかに育つ住まい方等を創造する「住育」の推進
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ	○		51	★★伝統芸能文化の振興に向けた先駆的取組の実施 伝統芸能文化を未来へと継承していくために, 「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の創設を目指しています。本センターが持つべき機能を先行的に実現する事業として, 京都に集積する日本の伝統的な文化芸術を国内外に強力に発信するための取組, 演者のみならず, 芸能を支える楽器・用具用品の製作者, 企画等を行うコーディネーターの育成, 伝統芸能を支える鑑賞者の裾野を広げていくための取組等を実施します。	○国家予算要望の中で「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の機能確保のための支援を要望(令和元年6月) ○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を実施する。令和元年度は, 以下の事業を重点的に実施。 ・伝統芸能文化に係る相談対応: 195件の相談を受ける ・関係機関とのネットワークの構築: 伝統芸能文化創生ネットワーク会議を東京文化財研究所と共催で開催(2月), 新規のネットワークを23件構築 ・伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム: 全国から全11件の応募があり, その中から3件を採択して共同実施。	実施済み 又は実施中	○国家予算要望の中で「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」の機能確保のための支援を要望(令和2年6月) ○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を令和元年度に引き続き, 以下の事業を重点的に実施する。 ・伝統芸能文化に係る相談対応 ・関係機関とのネットワークの構築 ・伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ	○		52	★社会人や通訳, 外国人等を対象とした伝統的な文化芸術を理解するための講座の実施 京都を中心に活躍する社会人, 特に通訳ガイド等, 外国人と接する機会が多い人は, 京都の文化についての発信の機会も多く, それらの方々が, 京都の文化の理解を深め, 正しく伝えられるような講座等を実施します。 具体的には, 国の特区制度を活用した京都市独自の「認定通訳ガイド」に対する文化芸術の研修の実施等, 効果的な形式で実施します。	○「京都市認定通訳ガイド」の専門研修科目で伝統文化・文化財・食文化を実施 ○「まち・ひと・こころが織り成す京都遺産」制度と連携のうえ, 京都遺産の魅力を満喫できる体験型ツアーを実施 ○新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問ツアーの実施 ○認定後の「京都市認定通訳ガイド」へのスキルアップ研修を実施 ○大学等の資源をいかす取組として, 大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において, 「京都力養成コース」や, 文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など, 京都ならではの文化芸術に関する講座を提供 科目提供大学: 31大学・2機関 提供科目数: 257科目 出願者数: 1,570人	実施済み 又は実施中	○「京都市認定通訳ガイド」の専門研修科目で伝統産業・文化財を実施 ○京都の伝統文化や伝統産業等に触れる体験型ツアーの運営や相談支援の実施 ○認定後の「京都市認定通訳ガイド」へのスキルアップ研修を実施 ○大学等の資源をいかす取組として, 大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において, 「京都力養成コース」や, 文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など, 京都ならではの文化芸術に関する講座を提供
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			53	・京都ならではの伝統的な文化芸術の集積をいかした舞台公演の実施等	○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業を検討し, 伝統芸能文化創生プロジェクトを実施。 ・シンポジウム&公演「鬼と芸能: 古今東西の鬼大集合」 日時: 令和2年2月8日(土) 「鬼と芸能」をテーマにした, 伝統芸能を牽引するキーパーソンによるシンポジウムと公演の二部構成のプログラムを実施	実施済み 又は実施中	○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を継続して実施。
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			54	・京都芸術センター等文化芸術拠点施設における伝統的な文化芸術継承・創造の取組の推進	○明倫茶会を実施(2回) ○「継ぐこと・伝えること」(2回)(コロナウイルスの影響により中止) ○地域の伝統芸能を発掘し披露する事業の実施(文化会館5館実施) (東部 10/27 375名, 呉竹 9/29 261名, 西文 1/12 180名, 北文 8/25 185名, 右京 1/11 25名) ○呉竹文化センターで「第26回お笑い呉竹寄席」を開催(8/24 232名)	実施済み 又は実施中	○明倫茶会を実施(2回程度) ○地域の伝統芸能を発掘し披露する事業の実施(5館実施) KYOTO伝統芸能フェスティバル2020(中止) (東部 10/31, 呉竹 7/26, 西文 9/27, 北文 8/22) ○呉竹文化センターで「第26回お笑い呉竹寄席」を開催(8/22 延期)

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			55	・伝統的な文化芸術の裾野を広げるワークショップの拡充等	○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を実施。相談窓口を開設し195件の相談を受けた。公募プログラム「伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム」を実施し、全11件の応募から3件を採択。シンポジウム&公演「鬼と芸能:古今東西の鬼大集合」を実施。	実施済み又は実施中	○「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)基本構想」(素案)に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業である「伝統芸能文化創生プロジェクト」を継続して実施。
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			56	・伝統的な文化芸術の研究や文化創造の機能の推進	○日本伝統音楽研究センターでの取組 ・伝音セミナー センターが所蔵する貴重なSPレコード等を中心に様々なジャンルを聞くことができる市民向け講座を実施(10回実施) ・公開講座 日本の伝統音楽及びその研究活動を分かりやすい形で伝えるために開催する市民向け講座を開催(11月、2月に計2回実施) ・でんおん連続講座 日本の伝統音楽・芸能について、大学・大学院で扱うような専門的なテーマを、初めての方でも分かりやすく学べる講座を実施(5講座実施(1講座につき全3回~10回))	実施済み又は実施中	○日本伝統音楽研究センターでの取組 ・伝音セミナー センターが所蔵する貴重なSPレコード等を中心に様々なジャンルを聞くことができる市民向け講座を実施 ※前期分(5月~8月)についてはコロナのため中止。 ・公開講座 日本の伝統音楽及びその研究活動を分かりやすい形で伝えるために開催する市民向け講座を開催 ・でんおん連続講座 日本の伝統音楽・芸能について、大学・大学院で扱うような専門的なテーマを、初めての方でも分かりやすく学べる講座を実施 ※前期分(5月~9月)についてはコロナのため中止。
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			57	・古典の日の推進	○第11回古典の日朗読コンテストの実施(6~12月) ○街かど古典カフェの開催(6-7月、9月) ○古典の日フォーラムの実施(11月) ○古典の日関連HPの運営	実施済み又は実施中	○第12回古典の日朗読コンテストの実施予定(6~12月) ○街かど古典カフェの開催予定(6-7月【延期】、9月) ○古典の日フォーラムの実施予定(11月) ○古典の日関連HPの運営
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			58	・全国の様々な人が集う伝統芸能の祭典の開催	○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020において、古典文学、伝統芸能、新技術を融合した「新猿楽記~cirque du kyoto~」を制作及び上映(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客で実施し、映像収録のうえ、今後HPIにて公開予定) 開催日:令和2年3月29日	一部を除き、実施済み又は実施中	○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—の開催
方向性2	伝統的な文化芸術を受け継ぐ			59	・国立京都歴史博物館(仮称)の整備に向けた取組	○京都にはまち全体に貴重な文化財や文化遺産があり、まち全体が歴史を物語るミュージアムであることから、歴史を紡いできた有形・無形遺産を守り、継承する取組を促進	実施済み又は実施中	○京都にはまち全体に貴重な文化財や文化遺産があり、まち全体が歴史を物語るミュージアムであることから、歴史を紡いできた有形・無形遺産を守り、継承する取組を促進
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		60	★文化芸術に関するネットワークを活用した新たな文化芸術の創造 創造環境を洗練させ、新たな文化芸術を創造するためには、文化芸術の専門的な活動を行う人と様々なジャンルの人・団体の有機的な連携が必要になります。 官民(文化団体、NPO、大学、行政等)が連携した京都文化芸術コア・ネットワークを活用し、多彩な事業を実施することで、新たな文化芸術の創造につなげます。	○京都文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度~)。例会を実施 ○ロームシアター京都×京都芸術センター連携事業 U35 創造支援プログラム“KIPPU”の実施(お寿司「蒔菰心中(ハローしんじゅう)」12/11~13 306名、オル太「超衆芸術 スタンドプレー」2/8~11 231名) ○ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業「未来のわたし-劇場の仕事-」の実施(7/27~8/24 16名) ○京都橘大学との連携事業「文化芸術による地域貢献プロジェクト」(東部文化会館、8/22~12/26) ○京都市交通局・山科区との共催事業・地域文化芸術活動活性化協議会連携事業「ナイス・ミート@エコム2019(ナイス・ミート in 山科)」(12/14、1/11、2/8 観覧多数、3/14 中止) ○京都市立芸術大学との共催事業 ・西文化会館ウエスティ「ウエスティ音暦(おとごよみ)」(6/8 293名、11/30 287名) ・北文化会館「文化会館コンサート I・II」(11/20 177名、2/5 141名) ○公益社団法人京都市児童館学童連盟との共催事業「右京ブロックじどうかんまつり2019」を開催(右京ふれあい文化会館、5/18 延べ4,300名) ○右京ブロック地域生徒指導連絡協議会との連携事業「第18回右京ふれあい合同演奏会」(3/1 中止)	実施済み又は実施中	○京都文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度~)。例会を実施 ○ロームシアター京都×京都芸術センター連携事業 U35 創造支援プログラム“KIPPU”の実施予定 ○ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業「未来のわたし-劇場の仕事-」の実施予定 ○京都橘大学との連携事業「文化芸術による地域貢献プロジェクト」(東部文化会館、中止) ○京都市交通局・山科区との共催事業・地域文化芸術活動活性化協議会連携事業「ナイス・ミート@エコム2019(ナイス・ミート in 山科)」毎月第2土曜 4~7月 中止) ○京都市立芸術大学との共催事業 ・西文化会館ウエスティ「ウエスティ音暦(おとごよみ)」(6/6 中止、11/28) ・北文化会館「文化会館コンサート I・II」(11月、2月) ○公益社団法人京都市児童館学童連盟との共催事業「右京ブロックじどうかんまつり2020」を開催(右京ふれあい文化会館、5/16 中止)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○	○	61	★社会課題を解決するソーシャルデザインにおける文化芸術の活用により芸術家の活躍の場を拡大する取組(◎新規) 近年、社会的な課題の解決にソーシャルデザインの手法が用いられており、そこに文化芸術が持つ力を活用することが注目されています。人口減少、空き家対策など、本市においても地域ごとに課題はありますが、文化芸術はそれらの解決の糸口となる可能性を秘めています。 また、本市では、ソーシャルイノベーション研究所を設置しており、社会的課題にアプローチする企業を支援しています。また、大学でもソーシャルデザインの研究が充実しています。 柔軟な発想で社会に関わることができる芸術家が、ソーシャルデザインの取組に参画し、芸術家が活躍するフィールドを広げる取組を進めます。	○引き続き、文化芸術が持つ力を活用し、社会的課題の解決を目指していく。 ○株式会社電通、京都造形芸術大学の協力のもと、RCAの講師陣に学ぶ「イノベーション マスタークラス in 京都」を実施し、京都の芸術家、職人等が参加。 ○日本ソーシャル・イノベーション学会、(公財)京都高度技術研究所とともに、シンポジウム「社会を変えるトリガーとは何か?『食・アート・サイエンス』」を開催した。	実施済み 又は実施中	○引き続き、文化芸術が持つ力を活用し、社会的課題の解決を目指していく。
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		62	★文化芸術を発展させるためのオープンデータの活用 近年、オープンデータを新しいビジネスの展開に活用する取組が進められています。オープンデータの活用は、新たな文化芸術を生み出す可能性もあります。本市が持つ文化芸術関係の情報を積極的に公開することで、そういった可能性を高めます。	○「文化・芸術」関連のデータのオープンデータとしての公開を働きかけ、データセット数について、拡充・更新を行った(拡充:1件、更新:1件)。 ○市民・大学・市内中小企業のデータ利用に係る意見交換会を3回開催し、「文化・芸術」関連のデータへのニーズを把握し共有した。	実施済み 又は実施中	○「文化・芸術」関連のデータのオープンデータとしての公開を引き続き推進 ○市民・大学・市内中小企業のデータ利用に係るニーズ把握とアイデア共有のための意見交換会を引き続き開催予定
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		63	★「映画のまち・京都」ならではの映画・映像文化等の振興 民間企業が主体となって開催する京都国際映画祭や立誠シネマ×シネマカレッジ京都等への支援を通じて、京都が持つ映画・映像資源を活用しながら、映画都市としての魅力を世界に広く発信するとともに、若手を支援する事業を実施します。 加えて、京都市メディア支援センターを中心に、市民や各施設等と連携し、撮影に対する協力等、撮影環境の向上に取り組むことで、映画・映像文化を振興するとともに、撮影場所としての京都の魅力も引き出します。	○京都国際映画祭2019の支援 ○京都市メディア支援センターによる支援の実施 ○新たなロケ地の掘り起こし及びロケ地紹介冊子の作成 ○コンテンツ産業振興事業の実施 ○京都ゆかりのコンテンツ制作支援とPR支援 ○新たな顕彰制度の創設を検討	実施済み 又は実施中	○京都国際映画祭2020の支援予定 ○「京都映画賞(仮称)」の実施予定 ○京都市メディア支援センターによる支援の実施 ○コンテンツ産業振興事業の実施 ○京都ゆかりのコンテンツ制作支援とPR支援
方向性2	新たな文化芸術を創り出す	○		64	★京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)の開催	○京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2019を開催(10月)	実施済み 又は実施中	○京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2020を開催予定(時期未定)
方向性2	新たな文化芸術を創り出す			65	・京都国際写真祭(KYOTOGRAPHIE)の開催	○国内外の重要作家の貴重な写真作品や写真コレクションを、趣きのある歴史的建造物やモダンな近現代建築の空間に展示する KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2019を春に開催。 期間:平成31年4月13日～令和元年5月12日 テーマ:VIBE 会場:京都文化博物館別館、二条城、京都文化博物館別館、京都新聞ビル印刷工場跡 ほか プログラム:・アルバート・ワトソン「Wild」 ・イズマイル・バリー「Kusunoki」 ・金氏徹平「S.F(Splash Factory)」 ほか計11のメインプログラム	実施済み 又は実施中	○KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2020を開催予定(9月～10月)
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○		66	★京都芸術センター等による芸術家の育成・活動支援 芸術家、芸術関係者の育成、作品の制作・発表の場の提供など、若い芸術家の成長を支えてきた京都芸術センターの機能強化、活動の充実に取り組むとともに、「京都市芸術文化特別奨励制度」の一層効果的な運用を引き続き実施します。	○京都芸術センターを運営中 ・「KAC Performing Arts Program」を開催 ・「展覧会」「セレブレーションー日本・ポーランド現代美術展ー」を開催 ・「T.T.T(トラディショナル・シアター・トレーニング)」を開催(7月～8月) ・「京都国際ダンスワークショップフェスティバル」 ・「跳ぶ前にきけ」 ・「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」 ○京都市芸術文化特別奨励制度を引き続き実施 応募件数48件、選定件数2件 ○ロームシアター京都×京都芸術センター連携事業 U35 創造支援プログラム「KIPPU」の実施(再掲)	実施済み 又は実施中	○京都芸術センターを運営中 ・「Kac Performing Arts Program」を開催 ・「展覧会」「新企画展」を開催 ・「T.T.T(トラディショナル・シアター・トレーニング)」を開催(7月～8月) (コロナウイルスの影響により映像製作予定) ・「京都国際ダンスワークショップフェスティバル」 ・「跳ぶ前にきけ」 ・「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」 ○京都市芸術文化特別奨励制度 募集中止 ○ロームシアター京都×京都芸術センター連携事業 U35 創造支援プログラム「KIPPU」の実施(再掲)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2 方向性3	文化芸術の担い手を育成・支援する 観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	67	★★芸術家の社会的、経済的地位の向上につながる各種取組の推進(◎新規) 芸術家は、その地位が確立され、収入が安定するまで相当な苦勞がありますが、京都は市民の文化芸術への理解があり、芸術家の活動を適切に評価し、支えてきたまちです。 芸術家を志す人に対して、あらゆる施策と連動し、居住・制作・発表環境に関する支援を充実するとともに、芸術家としての修練を積みながら生活できるような施策、例えば、発表の機会を増やすことで収入につながり、その場で販売できるようにしたりすることで、職業人として芸術家が生活し得るまちを目指します。	○HAPSにおいて、芸術家に適した仕事を掘り起し、それを若手芸術家に紹介する、「芸術家×仕事コーディネート事業」を実施(コーディネート件数:10件) ○京都学生アートオークションを実施(11月) 第4回出品作品数26点 ○芸術家の社会的・経済的地位向上に向け、市場規模の大きい海外のアートフェアに作品を出展し、作品の発表・販売機会を提供した。 ○パリ市との共同で京都とパリの職人やアーティストが交流してアート市場を志向した作品を創作する「京ものアート市場開拓支援事業」を実施。 ロンドンで開催のアートフェアへ出展(2月) ○世界遺産二条城において、国際的なアートフェア「artKYOTO」を開催(9月開催、来場者9,633人、売上5.1億円)	実施済み 又は実施中	○HAPSにおいて、芸術家に適した仕事を掘り起し、それを若手芸術家に紹介する、「芸術家×仕事コーディネート事業」を実施 ○世界遺産二条城において、国際的なアートフェア「artKYOTO」を開催予定 ○学生アートオークションを実施予定(12月頃) ○企画ギャラリーの集積と若手アーティストの創作環境の向上を目指し、国内外アートフェアへの出展を支援する。 ○パリ市との共同で京都とパリの職人やアーティストが交流してアート市場を志向した作品を創作する「京ものアート市場開拓支援事業」を実施予定。
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○		68	★若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりを支援する東山 アーティスト・プレースメント・サービス(HAPS)の取組の推進 将来の芸術活動の飛躍の可能性を秘めた若い人材が、数多く京都に学び、京都にとどまり、磨きをかけることを、HAPSの取組等で支援することにより、若手芸術家の創造活動による文化芸術が、京都のまちで大きく育っていくことを目指します。 また、芸術家が地域で居住・制作・発表することにより、地域のまちづくりを推進します。	○総合サポート窓口相談件数:201件(3月末時点) ○若手芸術家等に空き家を紹介し、居住・制作の場を提供:4件(3月末時点) ○閉校施設を制作スタジオとして活用(全6教室) ○キュレーター招聘の実施:2名(3月末時点) ○「ALLNIGHT HAPS」(HAPS拠点で終夜展示を行い、屋外より自由に鑑賞する展覧会)を開催(前期:6月~9月、後期:10月~3月) ○レクチャー・ワークショップの開催(10回開催・参加者114名)	実施済み 又は実施中	○これまでの取組と成果を検証し、今後の事業展開について内容の検討と見直しを行いながら、地域へのアプローチと国際的に活躍する若手芸術家等の育成・支援を実施する。
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○		69	★海外の著名なディレクター、キュレーターの招聘等国内外との文化芸術に関する質の高いコミュニケーションによる人材育成の推進 著名なディレクターやキュレーターの招聘等、国内外との文化芸術に関する質の高いコミュニケーションにより、文化芸術に携わる人材の交流を促進し、異なる視点の刺激を受けることで創作意欲を高めることにより、人材育成を推進します。	○京都国際舞台芸術祭2019において、欧米以外の国・地域から先駆的なアーティスト等を招聘。 ○HAPSにおいて、2名のキュレーターを招聘 ○京都芸術センターでAIR事業を実施するとともに、「AIR Alliance Platform」を実施 ○京都芸術センターにおいて、AIR総合webサイト「AIR-J」を開設 ○京都芸術センターにおいて、「キュレーターズ・キャンプ」で海外からキュレーターを招聘すると同時に、アーティストによる英語でのプレゼンテーションを実施。	実施済み 又は実施中	○京都国際舞台芸術祭2020において、欧米以外の国・地域から先駆的なアーティスト等を市招聘予定。 ○HAPSにおいて、国内外のキュレーターを招聘 ○京都芸術センターでAIR事業を実施するとともに、「AIR Alliance Platform」を実施 ○京都芸術センターにおいて、AIR総合webサイト「AIR-J」を運営
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する	○	○	70	★文化施設間で連携した、文化芸術事業のコーディネーター及び技術者を育成するための取組の推進(◎新規) 市民や芸術家の創造活動を活性化するには、その活動を支援するコーディネーターが必要であり、文化施設にあっては舞台技術者のスキルアップも必要になります。また、文化芸術事業の内容によっては、楽器や道具等を修理する技術が継承されることも重要です。 各文化施設等で取り組んでいるコーディネーター等の人材育成を支援するとともに、その取組の連携を図り、相乗効果を生み出します。	○ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業の実施 「カラフルパズル」ダンセマ・ダンス・シアター from リトアニア(東部 8/11 133名、呉竹 8/10 134名、8/12 西文 8/12 121名、北文 8/5 141名、右京 8/4 128名) ○ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業 「未来のわたし-劇場の仕事-」の実施(再掲)	実施済み 又は実施中	○ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業の実施予定 「紙のサティさん」、「リトルトップ」 ○ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業 「未来のわたし-劇場の仕事-」の実施予定(再掲)
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する			71	・顕彰制度の効果的な実施	○京都市文化功労者8名を表彰 ○京都市芸術新人賞11件、京都市芸術振興賞7件を表彰 ○京都市文化芸術産業観光表彰(文化芸術分野)について、きらめき賞3名、みらい賞3名、有功賞4件を表彰 ○京都文学賞について、一般部門最優秀賞1作品・優秀賞1作品、中高生部門最優秀賞1作品・優秀賞1作品、海外部門奨励作2作品を表彰(応募数537作品)	実施済み 又は実施中	○各顕彰制度を引き続き実施 ○京都文学賞を引き続き実施
方向性2	文化芸術の担い手を育成・支援する			72	・助成金等内定者資金融資制度等による芸術活動へのきめ細やかな支援	○助成金等内定者資金融資制度を運営。随時申請受付中。 ○HAPSにおいて、芸術家向けの相談窓口を継続して運営	実施済み 又は実施中	○助成金等内定者資金融資制度を運営。随時申請受付中。 ○HAPSにおいて、芸術家向けの相談窓口を継続して運営

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する	○	○	73	<p>★京都駅周辺エリアをはじめ、新たな文化ゾーンの創出等による地域の特色づくりの推進(◎新規) 崇仁地域への京都市立芸術大学の移転整備を見据え、京都駅の東部・東南部・西部エリアのまちづくりの取組を連動させ、京都の玄関口である京都駅の周辺エリアで「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出を目指します。また、ロームシアター京都のリニューアル・オープンや京都市動物園のグランドオープンの後の魅力づくりに加え、京都市美術館の再整備も予定しており、これまで進めてきた岡崎地域の魅力を更に深めていきます。</p>	<p>○京都駅東部エリアの活性化 ・京都駅東部エリアに係る庁内検討会議の開催(6月) ・京都駅東南部エリアにおける文化芸術イベント「東九条野外劇場」との連携イベント開催(11月) ・「京都駅東部エリア 高瀬川沿いを歩く」開催(12月) ・京都駅東部エリア「高瀬川オープンカルチャーフォーラム2020」開催(1月) ・京都駅東部エリア「京都・七条通めぐりスタンプラリー&アートフェスタ2020」開催(2月) ・「京都駅東部エリア 高瀬川沿いを歩く」開催(第2回)(2月) ○京都駅西部エリアの活性化 ・第6回京都市中央卸売市場第一市場「賑わいゾーン(南関連棟跡地)」の活用に係る契約候補事業者選定委員会を開催(5月) ・第7回京都市中央卸売市場第一市場「賑わいゾーン(南関連棟跡地)」の活用に係る契約候補事業者選定委員会を開催(6月) ・京都市中央卸売市場第一市場「賑わいゾーン(南関連棟跡地)」の活用に係る契約候補事業者を選定(6月) ・京都市中央卸売市場第一市場「賑わいゾーン(南関連棟跡地)」に係る土地売買契約の締結、土地引渡し(8月) ・引き続き、京都駅西部エリアまちづくり協議会において、総合情報サイト「京都えきにし」を運営(28年3月～)、マップ型情報冊子「京都えきにし通めぐり(改訂版)」を配布(29年2月～) ○西陣を中心とした地域の活性化 ・民間からの提案による活性化プロジェクト(「西陣 文化のスタートアップスタジオ構想」及び「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト)の推進等を行った。</p> <p>○京都駅東南部エリアの活性化 ・文化芸術によるまちづくりに向けた歩行空間等整備の基本設計 ・文化芸術によるまちづくりにふさわしい環境を整備するため、京都駅や京都芸大と東九条地区をつなぐ主要道路や川沿いに、魅力的な歩行空間や河川空間を創出する。 ○移転整備プレ事業の実施 ・元崇仁小学校の教室を改装した崇仁ギャラリーにおいて、「教室のフィロソフィー」を7回開催。 ・芸術資源研究センターのプロジェクト「崇仁小学校の記録と記憶を継承するプロジェクト」を実施し、元崇仁小学校を会場として「崇仁小学校展」を開催。 ○HAPSにおいて、京都駅東南部エリアを中心に、若手芸術家の新たな活動拠点の形成に資する事業を重点的に実施 ○岡崎地域の活性化に向けた取組 見学会・ワークショップの開催などの普及啓発事業等を行う。</p>	実施済み 又は実施中	<p>○京都駅東部エリアの活性化 ・京都駅東部エリアにおいて、京都市立芸術大学等が移転される令和5年度までの3年間、芸術大学や、下京涉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントなど、地域や関係するまちづくり団体等とも連携し、文化芸術を基軸としたまちづくりを進め、エリア活性化の機運を高めるとともに、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンの創生を図る。 ○京都駅西部エリアの活性化 ・エリアマネジメント組織「京都駅西部エリアまちづくり協議会」を中心に、「京都駅西部エリア活性化将来構想」に掲げる将来ビジョン「多彩な地域資源をつなげ、京都の新しい賑わいを創出するまち」の実現を目指し、様々な活性化事業に取り組んでいく。 ○京都駅東南部エリアの活性化 「文化芸術」と「若者」を基軸とした新たなまちづくりの推進に向けて ・様々な機会を捉えた活性化方針の周知 ・「文化芸術によるまちづくり」に向けた地域の機運醸成事業を実施する。 ○西陣を中心とした地域の活性化 ・昨年度に引き続き、民間からの提案による活性化プロジェクト(「西陣 文化のスタートアップスタジオ構想」及び「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト)の推進等を行う。</p> <p>○移転整備プレ事業の実施 崇仁地域近郊で開催される地域行事等への参加(※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、規模を縮小して実施予定)</p> <p><都計> ○京都駅東南部エリアの活性化 ・文化芸術によるまちづくりに向けた歩行空間等整備の実施設計 ・文化芸術によるまちづくりに資する公園整備の基本設計</p> <p>○HAPSにおいて、京都駅東南部エリアを中心に、若手芸術家の新たな活動拠点の形成に資する事業を重点的に実施 ・東九条に新たな活動拠点(HAPS HOUSE)を設置する。</p>
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する	○		74	<p>★「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等各区の個性をいかした各種文化事業の推進 地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区長・担当区長を先頭に、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく、京都ならではの地域力をいかした協働型まちづくり「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等において、各区の個性をいかした文化関係事業の取組を推進します。</p>	実施済み 又は実施中	<p>○文化庁補助事業を活用した「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進事業の中で、区ごとの歴史や文化を紹介する冊子を発行するなど、市民が暮らしの文化に触れ、その価値を見つめ直す機会を創出した。 ○区民が自発的、自主的に企画・運営する「区民提案型支援事業」では、文化や芸術に特化した募集枠の設定や、区民による地域の伝統・伝承文化の保存・継承に向けた取組を実施した。 ○「共汗型事業」では、文化展示会、文化祭等の文化関係事業について、様々な取組を引き続き実施した。 また、周年事業(上京区、左京区、中京区、東山区、下京区)において、各区の歴史や文化に親しむ機会を創出した。 【別紙参照】</p>	<p>○文化庁補助事業を活用した「地域に根差した暮らしの文化」を通じたまちづくりの推進事業の中で、区ごとの歴史や文化を紹介する冊子を発行するなど、市民が暮らしの文化に触れ、その価値を見つめ直す機会を創出する。 ○区民が自発的、自主的に企画・運営する「区民提案型支援事業」では、文化や芸術に特化した募集枠の設定や、区民による地域の伝統・伝承文化の保存・継承に向けた取組を実施する。 ○「共汗型事業」では、史跡めぐり、文化展示会、文化祭等の文化関係事業について、様々な取組を引き続き実施する。</p>
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する			75	<p>・「文化芸術活性化パートナーシップ事業」による地域文化会館の効果的な運営等、芸術家等の活動を地域に根付かせ、地域で応援する環境づくり</p>	実施済み 又は実施中	<p>○京都市音楽芸術文化振興財団において、パートナー団体を10団体選出し、無料公演、教育プログラムなど、「文化芸術活性化パートナーシップ事業」等を実施 ○文化芸術活性化パートナーシップ事業 各文化会館のコーディネーターが、パートナー団体とともに、市民を対象とした無料公演を企画・実施(年1回以上) ○文化芸術活動パワーアップ支援事業 地域の文化芸術活動家等の活動支援として、各文化会館のコーディネーターが舞台演出等をコーディネート(随時)</p>	<p>○京都市音楽芸術文化振興財団において、パートナー団体を10団体選出し、無料公演、教育プログラムなど、「文化芸術活性化パートナーシップ事業」等を実施 ○文化芸術活性化パートナーシップ事業 各文化会館のコーディネーターが、パートナー団体とともに、市民を対象とした無料公演を企画・実施(年1回以上) ○文化芸術活動パワーアップ支援事業 地域の文化芸術活動家等の活動支援として、各文化会館のコーディネーターが舞台演出等をコーディネート(随時)</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する			76	・「文化の薫り漂う、歩いて楽しい岡崎」の推進	<p>○官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、京都市美術館や国立近代美術館をはじめ、多くの関係主体との連携の下、岡崎の優れた地域資源を活かした地域連携型魅力創出事業や、岡崎の魅力情報発信など、ビジョンに掲げる方策実現に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岡崎ときあかり」開催(11月) ・「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」開催(3~4月) ・総合情報パンフレット「岡崎手帖(秋号)」発行(9月) ・総合情報パンフレット「岡崎手帖(春号)」発行(3月) ・「地図で読む 京都・岡崎年代史」の販売(24年6月~) ・まち歩き連続講座「岡崎探険」開催(24年8月~) ・総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用(25年8月~) ・回遊促進型イラストマップ「岡崎どこいこトコトコトコト街図」発行(26年8月~) ・「岡崎どこいこトコトコトコト街図」の英語版「Kyoto OKAZAKI Guide Map」発行(27年3月~) ・「京都岡崎ループ」運行(27年9月~) <p>○西陣を中心とした地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間からの提案による活性化プロジェクト(「西陣 文化のスタートアップスタジオ構想」及び「路地から始める西陣暮らし」プロジェクト)の推進等を行った。 	実施済み又は実施中	<p>○官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、京都市美術館や国立近代美術館をはじめ、多くの関係主体との連携の下、岡崎の優れた地域資源を活かした地域連携型魅力創出事業や、岡崎の魅力情報発信など、ビジョンに掲げる方策実現に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」開催(3~4月) ・総合情報パンフレット「岡崎手帖(秋号)」発行(時期調整中) ・総合情報パンフレット「岡崎手帖(春号)」発行(3月) ・「地図で読む 京都・岡崎年代史」の販売(24年6月~) ・まち歩き連続講座「岡崎探険」開催(24年8月~) ・総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用(25年8月~) ・回遊促進型イラストマップ「岡崎どこいこトコトコトコト街図」発行(26年8月~) ・「岡崎どこいこトコトコトコト街図」の英語版「Kyoto OKAZAKI Guide Map」発行(27年3月~) ・「京都岡崎ループ」運行(27年9月~)
方向性2	地域のまちづくり活動と連携する			77	・京都市景観・まちづくりセンター等との連携による市民の主体的なまちづくり活動の支援	<p>○景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、まちづくり専門家派遣や活動助成を実施。</p>	実施済み又は実施中	<p>○景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、まちづくり専門家派遣や活動助成を実施。</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	78	<p>★京都の衣食住等の暮らしの文化をいかした観光振興の推進(◎新規)</p> <p>京都には、京町家、和食、着物など、暮らしに根差した文化芸術資源が豊富にあります。それらを観光客の方々にも理解し、楽しんでいただくため、京町家に宿泊し、茶道や華道などの文化体験をしていただくなど、暮らしの文化をいかした観光振興の取組を推進します。</p>	<p>○京都の文化資源の魅力発信事業</p> <p>民間事業者との連携のもと、和装、和食、茶道、華道など、京都の伝統文化に触れていただくことで、京都が持つ多彩な魅力を発信し、幅広い層の観光客の誘客と分散化を図った。</p> <p>○隠れた名所の活用等による観光地分散化</p> <p>観光客を惹きつける潜在力を持つ寺社をはじめ、朝・夜に文化・芸術鑑賞や伝統芸能を体験できる施設、美術館や博物館などの展示会との連携など、多様なエリアの魅力ある名所や見どころを、SNSなどのWEB媒体を含む広報ツールを活用し、情報発信することで、観光客の集中緩和を図るとともに、新たな京都観光の魅力づくりにつなげた。</p>	実施済み又は実施中	<p>○隠れた名所の活用等による観光地分散化</p> <p>観光客を惹きつける潜在力を持つ寺社をはじめ、朝・夜に文化・芸術鑑賞や伝統芸能を体験できる施設、美術館や博物館などの展示会との連携など、多様なエリアの魅力ある名所や見どころを、SNSなどのWEB媒体を含む広報ツールを活用し、情報発信することで、観光客の集中緩和を図るとともに、新たな京都観光の魅力づくりにつなげる。</p> <p>○朝・夜観光など幅広い京都の魅力向上事業</p> <p>朝・夜の混雑していない時間帯の京都の魅力を発信し、日本人観光客の誘客・分散化を図るとともに、美術館等の文化的コンテンツを活用したツアー造成など、「文化と観光」の連携を強化し、新たな経済的価値の創出につなげる。</p> <p>※「京都の文化資源の魅力発信事業」は令和元年度で終了。</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○		79	<p>★文化財や文化施設が持つ魅力を最大限に引き出し、積極的に活用するための取組の推進</p> <p>文化財や文化施設をはじめとする文化芸術資源は、維持するだけでなく、その価値を存分に引き出し、収益をあげながら更に魅力を高めるような好循環を生み出していく必要があります。</p> <p>具体的には、解説の多言語化や案内板の整備等を充実し、来場者のニーズに応じて特別な文化体験メニューや夜間景観を光で彩る取組を設けるなど、収益性を高めつつ、それらの持つ魅力を引き出します。</p>	<p>○京都の奥深い魅力を活かした体験メニュー等を開発し、京都市認定ガイドによる体験型ツアーを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二条城英語ガイドツアー 等 <p>○ICOM京都大会を記念し、一般社団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパンと連携し、「時を超える:美の基準」展を二条城にて開催</p>	実施済み又は実施中	<p>○京都の伝統文化や伝統産業等に触れる体験型ツアーの運営や相談支援の実施</p>
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	80	<p>★最新のコンテンツを活用した文化芸術の創造・普及(◎新規)</p> <p>京都では「京都国際マンガミュージアム」をはじめ、大学や企業等において、最新のコンテンツ、メディア芸術に関する研究、人材育成、新産業の創出等が進められています。</p> <p>この良質な環境をいかし、研究等を進める中で、最新のコンテンツと文化芸術、伝統産業等を結び付けることにより、新たな文化芸術の創造、産業振興を目指します。</p> <p>また、そのようなコンテンツは、子どもの興味関心を引き出すツールとして活用できるため、文化芸術、伝統産業等の普及に活用することを検討します。</p>	<p>○コンテンツ産業振興事業の実施</p> <p>○MANGAナショナルセンター誘致推進事業の実施</p> <p>○時代祭の魅力発信マンガ「時代祭に行くっ」を発行</p> <p>○「京都・和の文化体験の日」において情報冊子「はじめまして日本舞踊」を発行</p> <p>○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020において、ASTEM30周年記念事業と連携し、芸術と科学の融合を体験できるキッズ・ワークショップを開催。</p> <p>開催日:令和元年8月3日 参加者数:88名</p>	実施済み又は実施中	<p>○「京都・和の文化体験の日」において情報冊子(英語版)を発行予定</p> <p>○コンテンツ産業振興の実施</p> <p>○MANGAナショナルセンター誘致推進事業の実施事業の実施</p> <p>※祭の魅力発信マンガの作成は令和元年度をもって終了。</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	81	★多様な価値観の変化に合わせた伝統的な文化芸術・伝統産業の一体的な発信(◎新規) 京都の伝統的な文化芸術を支え、また、それによって磨かれてきた伝統産業は、今日においても、地域の経済と社会に不可欠な京都の基幹産業となっていますが、生活様式や価値観の変化により、厳しい状況が続いています。 総合芸術と呼ばれている茶道や能楽の所作には、正式には和室など和の空間が必要であり、茶碗や畳、和装などの工芸品等も必要となります。文化芸術活動の活性化は、産業振興につながっています。 茶道、華道、香道等の伝統的な文化芸術の魅力に触れ、そこで使われる道具や背景を理解したうえで、その商品が購入できるようにするなど、文化と産業を一体的に事業展開します。	○「京都・和の文化体験の日」の実施(1月) ・「はじめまして日本舞踊」の開催 参加者297名 ・ワークショップの開催 21名 ・情報冊子の配布 ○「artKYOTO」で、工芸作品を販売	実施済み 又は実施中	○「京都・和の文化体験の日」において情報冊子(英語版)を発行予定
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合	○	○	82	★文化芸術資源を再認識し、文化芸術資源と学術・技術の融合による新たな価値・イノベーションの創出(◎新規) 京都にとって当たり前のように捉えられている伝統的な文化芸術、技術やサービスは、外部の目から見ると違う価値があり、新たな可能性を秘めています。 また、文化芸術は、学術や技術と融合することで、無限の可能性が広がります。大学等の研究機関や本市の産業技術研究所などと連携することで文化芸術に関するイノベーションを起こし、文化芸術の魅力を最大限に引き出した公演や商品開発等を検討します。	○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020の開催 開催日:令和2年3月7日～9日, 21日～29日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止または無観客等で実施し、映像等で収録 ○産業技術研究所による研究開発 ・京都の伝統工芸による感性価値の高い介護スプーンの開発実用化 ・祇園祭懸装品をはじめ、京都の文化財に資する漆技術の活用支援 ・清酒醸造業者への技術支援 ・文化財の分析・解析技術の高度化とそれをいかした文化財修復等への技術提供 ・「文化的工芸品」のデザイン要素を活用した新商品開発	実施済み 又は実施中	○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—の開催 ○産業技術研究所による研究開発 ・京都の伝統工芸による感性価値の高い介護食器の開発 ・祇園祭懸装品をはじめ、京都の文化財に資する漆技術の活用支援 ・清酒醸造業者への技術支援 ・文化財の分析・解析技術の高度化とそれをいかした文化財修復等への技術提供 ・「文化的工芸品」のデザイン要素を活用した新商品開発
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			83	・「京もの」の海外進出支援事業の推進	○パリ市との共同で京都とパリの職人やアーティストが交流してアート市場を志向した作品を創作する「京ものアート市場開拓支援事業」を実施。 ロンドンで開催のアートフェアへ出展(2月) ○京都の技術を生かした素材を欧州と始めとする海外市場へ売り出すため、専門家によるコンサルティングを実施し、パリで開催される国際見本市に出展予定。	実施済み 又は実施中	○京都とパリの職人・アーティストが相互交流やコラボレーションすることにより、アート市場を志向した作品を創作し、ロンドンのアートフェアや、日本国内の百貨店等に出展・販売を実施予定。
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			84	・「伝統産業の日」の全国拡大をはじめとした伝統産業の振興	○本市独自に制定した「伝統産業の日」を含む2～3月を集中期間とし、1年間にわたり「伝統産業の日」関連事業として実施。 ○新たな観光資源の発掘と伝統産業製品の販路拡大を図る工房訪問事業の推進 ○京ものブランド確立に向けた生産履歴システムの開発等の支援 ○「京都伝統産業ふれあい館」を核とした、観光や販売促進の視点を取り入れた伝統産業の振興 ○「日本酒乾杯条例」を契機に新たなプロジェクトに取り組む伝統産業若手職人の支援 ○世界にはばたく伝統産業後継者育成事業	実施済み 又は実施中	○本市独自に制定した「伝統産業の日」を含む2～3月を集中期間として多彩な事業に取り組むとともに、「マンガ・アニメ」等のコンテンツ産業との連携企画など、年間を通じて「伝統産業の日」関連事業を実施予定 ○「日本酒乾杯条例」を契機に新たなプロジェクトに取り組む伝統産業若手職人の支援 ○「京都伝統産業ミュージアム」を核とした、観光や販売促進の視点を取り入れた伝統産業の振興
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			85	・多様な地域資源をいかしたメディア芸術(コンテンツ産業)の振興	○マンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」等の開催 ○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020の開催等(一部プログラムについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止または無観客等で実施し、映像等で収録)	実施済み 又は実施中	○マンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」等の開催 ○KYOTO STEAM—世界文化交流祭—の開催
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合		○	86	・暮らしの文化と密接に関わる農林業施策における「食の文化」「花の文化」「木の文化」の振興(◎新規)	○伝統工芸品「和ろうそく」の地産地消の取組 ○「食の文化」 京の旬野菜推奨事業、農業啓発イベントの実施 他 ○「木の文化」 ①住宅や店舗等への木材利用による木のぬくもりあるまちづくりの推進 ②屋外広告物などへの木材利用、北山丸太スギへの枝打ちの支援による京都らしいまちづくりの推進 ③災害に強い森づくり事業の推進 ○伝統工芸品「和ろうそく」の地産地消の取組 ○北部山間地域における地域資源を活かした地産地消の取組(京北産マツタケの再生、別所に自生するチマキザサ活用に向けた調査・育成) ○大規模集約型林業モデル事業 森林所有者調査、境界の明確化、担い手育成研修の実施など	実施済み 又は実施中	○伝統工芸品「和ろうそく」の地産地消の取組 ○「食の文化」 京の旬野菜推奨事業、農業啓発イベントの実施 他 ○「木の文化」 ①非住宅(店舗等)や屋外広告物等での市内産木材利用による木のぬくもりあるまちづくりの推進 ②北山丸太スギへの枝打ちの支援による京都らしいまちづくりの推進 ③災害に強い森づくり事業の推進 ○伝統工芸品「和ろうそく」の地産地消の取組 ○北部山間地域における地域資源を活かした地産地消の取組(京北産マツタケの再生、別所に自生するチマキザサ活用に向けた調査・育成) ○大規模集約型林業モデル事業 境界の明確化、事業計画の策定など

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			87	・京都市立芸術大学における市民との積極的な交流や情報発信の推進	○芸術資料館収蔵品展 令和元年度も1年を5期に分けて開催 第1期:4月11日～5月12日 版画一版がつくる魅惑の世界 第2期:5月18日～6月23日 新収蔵品展 第3期:6月29日～8月4日 ROZOME—小合友之助に始まるろう染めの伝統 第4期:9月17日～10月20日 掛図と標本—美術工芸学校の教材 第5期:10月26日～12月1日 模写を読む—画家は何をうつしてきたのか ○ギャラリー@KCUA(アクア)の活用 ○年間十数回の展覧会と随時各種イベントの開催 その中で、若手芸術家の育成や海外アートシーンの紹介などを通じ、学生や芸術家等との交流の場として、また文化芸術を身近に感じることが出来る開かれた大学の拠点として展開を図る。	実施済み 又は実施中	○芸術資料館収蔵品展 令和2年度も1年を5期に分けて開催 第1期:4月11日～5月10日 KYOTOのYUGA! 油彩画コレクション(中止) 第2期:5月16日～6月21日 新収蔵品展2019-2020(中止) 第3期:6月27日～8月2日 京都市立芸術大学創立140周年記念展 第4期:9月15日～10月18日 南宗憧憬—京都芸大の中国絵画田能村直入寄贈品を中心に 第5期:10月24日～11月29日 近代の写生ころとたち ○ギャラリー@KCUA(アクア)の活用 ・開館10周年記念特別展をはじめ、年間十数回の展覧会や各種イベントの開催 若手芸術家の育成や海外アートシーンの紹介などを通じ、学生や芸術家等との交流の場として、また文化芸術を身近に感じることが出来る開かれた大学の拠点として展開を図る。
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			88	・京都芸術教育コンソーシアム等における芸術系大学との連携の推進	○京都芸術教育コンソーシアム ○引き続き、芸術教育の普及をめざし共同研究「京都芸術教育研究事業」や各種連携事業を実施。 ○令和元年度も「京都芸術教育フォーラム」、「京都子どもアート探検ラリー」を実施予定。 ○引き続き、文化芸術コア・ネットワークの中で芸術系大学とも連携予定。 ○京都文化芸術コア・ネットワークの中で芸術系大学と連携	実施済み 又は実施中	○京都芸術教育コンソーシアム ○引き続き、芸術教育の普及をめざし共同研究「京都芸術教育研究事業」や各種連携事業を実施。 ○令和2年度も「京都芸術教育フォーラム」、「京都子どもアート探検ラリー」を実施予定。 ○引き続き、文化芸術コア・ネットワークの中で芸術系大学とも連携予定。
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			89	・京都が誇る大学・研究機関等の集積の活用	○大学等の資源をいかす取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供 科目提供大学:31大学・2機関 提供科目数:257科目 出願者数:1,570人 ○市立芸大での取組 ・学外連携の充実 授業のカリキュラムとしての取組や、学内での掲示告知により、学生の自由参加を促す。 ①地下鉄北山駅における本学生の作品展示 依頼者:京都市音楽芸術文化振興財団 ②東山花灯路で本学生の作品を展示 3月展示 ③西京区役所・下京区役所との事業連携 ④祇園祭りで配布されるうちのデザイン制作 8月配付	実施済み 又は実施中	○大学等の資源をいかす取組として、大学コンソーシアム京都と協働で実施している社会人向けの生涯学習事業である「京カレッジ」において、「京都力養成コース」や、文化力・地域力の向上を目的とする「教養力養成コース」など、京都ならではの文化芸術に関する講座を提供
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			90	・京都市考古資料館での大学等と連携した合同企画展の実施	○市内の大学との合同企画展 京都橘大学と合同企画展を実施「焼き物からよむ平安時代—発掘でみえてきた食器・酒造り・饗宴—」(12月～1月)	実施済み 又は実施中	○市内の大学との合同企画展
方向性3	観光・産業・学術・教育・福祉・まちづくり等と文化芸術の融合			91	・番組小学校創設150周年・京都市学校歴史博物館開館20周年記念事業の実施	○番組小学校創設150周年記念特別展(全5回)、記念イベント、関連企画展(全2回)の実施 ○番組小学校創設150周年記念「図録 番組小学校の軌跡—京都の復興と教育・学区—」の発行 ○京都市学校歴史博物館開館20周年記念・番組小学校創設150周年記念グッズ(エコバッグとアルマイト食器セット)の販売(継続)	実施済み 又は実施中	—
方向性3	文化財を守り活用する	○		92	★★世界遺産・二条城が文化財保存と活用のモデルとなる取組の実施 文化財活用の全国モデルとなるべく、世界遺産・二条城の格式や歴史的価値を最大限にいかし、MICE等に活用(ウェディング、市民大茶会、アートアクアリウム城、クラシックコンサート、シンポジウム等)することにより、その魅力を国内外に発信します。	○本丸御殿修理工事 ○夏の入城時間延長(7月～8月:午前8時～午後5時、9月:午前8時～午後4時) ○世界遺産二条城MICEプラン ○世界遺産二条城ウエディング	実施済み 又は実施中	○本丸御殿修理工事 ○夏の入城時間延長(7月～8月:午前8時～午後5時、9月:午前8時～午後4時) ○世界遺産二条城MICEプラン ○世界遺産二条城ウエディング

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、△は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容		
方向性3	文化財を守り活用する	○	○	93	★和装、華道、庭園文化など京都に息づき世界的に評価の高まっている和の文化の振興とユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援(◎新規) 京都に息づき世界的に評価の高まっている和の文化のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた支援を行います。 また、市民が和の文化に触れる機会をつくり、機運を高めるため、公共施設への和室設置を進め、民間の建物にも奨励するなど、和の文化と伝統産業の振興を行います。	○業界団体が行う「和装(きもの文化)」のユネスコの無形文化遺産登録に向けた機運醸成や国への働きかけの支援 ○学校、保育園、幼稚園など公共施設への和室設置を推進 ○民間建物への和室設置を奨励	○業界団体が行う「和装(きもの文化)」のユネスコの無形文化遺産登録に向けた機運醸成や国への働きかけの支援 一部を除き、実施済み又は実施中
方向性3	文化財を守り活用する	○		94	★京都市指定・登録文化財の公開に向けた大規模な改修を推進するなど「未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業」の実施 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、京都の魅力を発信するため、平成26年度から31年度(オリンピック・パラリンピックの開催前年)までの6箇年計画により、市指定・登録文化財建造物等を対象として、一般公開に向けた修理の支援を集中的に行っています。	○「未来へつなぐ歴史的建造物等計画的修理事業」の実施	新たに『文化財の重点的修理推進事業』を創設。2025年大阪・関西万博の開催を控え、地域の活性化に資する文化財の重点的な修理を推進する。 実施済み又は実施中
方向性3	文化財を守り活用する	○		95	★市独自の文化遺産を維持、継承、活用するための先駆的な取組等の推進 京都を彩る建物や庭園制度、京都をつなぐ無形文化遺産制度を創設し、これまで、市独自に京都のあらゆる文化遺産を維持、継承、活用するための先駆的な取組を進めてきました。今後も、継続して取り組むとともに、これまで得た成果を踏まえて創設した、まち・ひと・こころが織り成す京都遺産制度を推進し、多様な文化遺産について、地域性、歴史性、物語性を持った集合体として認定し、新たな魅力を伝え、京都の文化遺産を守り、いかに取組につなげます。 また、国が創設した日本遺産制度との連携も視野に入れて取組を進めています。	○「京都の財産として残したい建物や庭園」の公募 ・審査会を開催し、追加の選定及び認定を行う。 ○選定及び認定されたものへの支援策 ・京都を彩る建物や庭園修理事業助成の交付 ・「京都を彩る建物や庭園」所有者交流会の開催 ○京都を彩る建物や庭園制度の普及啓発事業の実施 ・「京都を彩る建物や庭園400件選定記念 企画展 親子で探そう！残したい京都一建物とお庭めぐり」の開催(7, 8月) ○「京都をつなぐ無形文化遺産」普及啓発事業及び“暮らしの文化はぐくみ事業”の実施 (“京都をつなぐ無形文化遺産”の5年間の成果を踏まえ、子どもたちがこれらの文化を体験できる普及啓発事業等を行う。) ・「親子で体験！京の菓子文化」(6, 10月) ・「京の食文化 朝ごはん 料理教室」(7, 9, 1月) ・「暮らしの文化フェスタ(京の地蔵盆)」イベントの実施(8月) ・「親子で体験！京のきもの&生活文化」(11月) ・「親子で体験！京料理と伝統文化」(2月) ・京菓子展(11月) ・「京の年中行事」に係る動画、コラムの定期配信 ○“まち・ひと・こころが織り成す京都遺産” ・「京の商いと祇園祭を支えるまち」「京と大阪をつなぐ港まち・伏見」を認定 ・スマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」の配信	○「京都の財産として残したい建物や庭園」の公募 ・審査会を開催し、追加の選定及び認定を行う。 ○選定及び認定されたものへの支援策 ・京都を彩る建物や庭園修理事業助成の交付 ○“京都をつなぐ無形文化遺産”の普及啓発に係る取組を実施 ○“まち・ひと・こころが織り成す京都遺産”の普及啓発に係る取組を実施 実施済み又は実施中
方向性3	文化財を守り活用する	○		96	★豊かな文化の根源となる生物多様性を守るための取組の推進 京都では、五穀豊穡を祝う伝統行事や、地域の祭で使われる祭祀品などに多くの生物資源が用いられてきました。その原料を調達し、加工する過程までを含め、文化や産業として今なお根付いています。 今、その伝統的な文化を支える資源が、絶滅の危機に瀕しています。本市では、フタバアオイやチマキザサなど、本市の伝統的な文化を育んできた本市固有の生きものの保全を図ることを目的に、京の生きもの文化協働再生プロジェクト認定制度を創設、運用することで、生物多様性を守り、文化を継承します。	フタバアオイやチマキザサなど、本市の伝統的な文化を育んできた本市固有の生きものの保全を図ることを目的に、京の生きもの文化協働再生プロジェクト認定制度を運用した。 ・新たに4件のプロジェクトを認定(合計24件)	引き続き、フタバアオイやチマキザサなど、本市の伝統的な文化を育んできた本市固有の生きものの保全を図ることを目的に、京の生きもの文化協働再生プロジェクト認定制度を運用する。 実施済み又は実施中
方向性3	文化財を守り活用する			97	・みやこ文化財愛護委員、京都市文化財マネージャーの育成	○みやこ文化財愛護委員養成講座の実施 ○文化財マネージャーの育成講座の実施	○みやこ文化財愛護委員養成講座の実施 ○文化財マネージャーの育成講座の実施 実施済み又は実施中
方向性3	文化財を守り活用する			98	・若年層がほんものの歴史や文化財に触れる機会を増やし、地元の歴史への理解や文化遺産を大切にしようとする意識の向上の推進	○京都市考古資料館で夏期教室を実施(38名) ○出土遺物の学校への貸出を実施(11件)	○京都市考古資料館で夏期教室を実施 ○出土遺物の学校への貸出を実施 実施済み又は実施中
方向性3	文化財を守り活用する			99	・文化財への愛護思想と防火意識の向上を目的とした防火防災教育・研修の実施	○「夏の文化財防火運動」及び「文化財防火運動」の実施 ○みんなDE文化財防火スクール(仮称)の開催 ○市内の未就学児、小学生、中学生から、消防に関する図画、ポスター、作文を募集	○「夏の文化財防火運動」及び「文化財防火運動」の実施 ○「ジュニア文化財防火・防災スクール(仮称)」の開催 実施済み又は実施中

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性3	文化財を守り活用する			100	・市指定文化財等への指定・登録や文化財防災マスターの養成など地域と連携した文化財の保存及び活用の推進	○文化財指定・登録 ・文化財指定・登録(8件) ・文化財邸準備調査を実施(8件) ○埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施 ○文化財防災マスター養成 ○文化財周辺における「たき火又は喫煙を制限する区域」の指定 ○各消防署において、文化財レスキューによる訓練を実施	実施済み又は実施中	○文化財指定・登録 ○埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施 ○文化財防災マスター養成 ○文化財周辺における「たき火又は喫煙を制限する区域」の指定 ○各消防署において、文化財レスキューによる訓練を実施
方向性3	文化財を守り活用する			101	・地域づくりの中核となる文化遺産を市民が保存・活用するための取組の促進	○史跡公園等の史跡の維持管理、地域文化遺産の保存・活用を実施 ○名勝雙ヶ岡の災害復旧事業を完了	実施済み又は実施中	○史跡公園等の史跡の維持管理、地域文化遺産の保存・活用を実施予定 ○史跡御土居危険木対策事業を実施予定
方向性3	文化財を守り活用する			102	・文化財の保存と活用の推進及びMICE活用への展開	○文化財指定・登録 ・文化財の指定・登録を実施(8件) ・文化財指定準備調査を実施(8件) ○指定・登録文化財の普及啓発事業の実施 ・「ICOM京都大会開催記念 京都市指定の文化財」展を開催(8, 9, 10月) ○埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施 ○無鄰菴の公開及びイベントの開催 ○岩倉具視幽棲旧宅の公開及びイベントの開催 ○旧三井家下鴨別邸の公開及びイベントの開催 ○京都市婚活支援事業(体験イベント等を実施) ・京都婚活2019 動物園・平安神宮散策、御朱印帳作り等を実施 ・大徳寺de京都婚活(2回) お茶、和紙ちぎり絵体験を実施 ○円山公園の再整備(修復)による名勝地としての魅力向上 ・名勝庭園の骨格を形成する流れの修復 ・来訪者で賑わうひょうたん池周辺の広場整備 ・眺望景観を悪化させている樹木の剪定伐採	実施済み又は実施中	○文化財指定・登録 ・文化財の指定・登録を実施 ・文化財指定準備調査を実施 ○埋蔵文化財の試掘・発掘調査を実施 ○無鄰菴の公開及びイベントの開催 ○岩倉具視幽棲旧宅の公開及びイベントの開催 ○旧三井家下鴨別邸の公開及びイベントの開催 ○京都市婚活支援事業 ○円山公園の再整備(修復)による名勝地としての魅力向上 ・名勝庭園の骨格を形成する流れに沿った園路の修復 ・多くの花見客に親しまれている祇園枝垂桜周辺の広場の整備
方向性3	文化財を守り活用する			103	・琵琶湖疏水をはじめとした近代化遺産の活用	○水路閣の動態観測及び水路閣西側通路付近の詳細調査を継続実施 ○水路閣西側通路付近の補強工事を実施 ○「琵琶湖疏水通船」本格運航を継続実施 ○琵琶湖疏水沿線の魅力向上・発信のための取組を継続実施	実施済み又は実施中	○水路閣の動態観測及び水路閣西側通路付近の詳細調査を継続実施 ○水路閣西側通路付近の補強工事を継続実施 ○「琵琶湖疏水通船」を継続実施 ○琵琶湖疏水沿線の魅力向上・発信のための取組を継続実施
方向性3	文化財を守り活用する			104	・京都における新たな世界遺産の登録	○「京都をつなぐ無形文化遺産」普及啓発事業の実施 ・「京の菓子文化」親子お菓子教室(6, 10, 2月) ・「京の食文化」料理教室(7, 9, 1, 3月) ○「京の食文化」普及啓発 ・「京都・和食文化推進会議」のHPの運営 ○業界団体が行う「和装(きもの文化)」のユネスコの無形文化遺産登録に向けた機運醸成や国への働きかけの支援	一部を除き、実施済み又は実施中	○「京の食文化」普及啓発 ・「京都・和食文化推進会議」の運営を行う。 ○業界団体が行う「和装(きもの文化)」のユネスコの無形文化遺産登録に向けた機運醸成や国への働きかけの支援 ○「京都をつなぐ無形文化遺産」の普及啓発に係る取組を実施
方向性3	景観を保全し再生する	○		105	★文化芸術の視点による京都らしい景観の向上 マンホールアート、まちのシンボルとなる橋等、文化芸術の視点に配慮した景観を創造し、京都のまちなみ、景観の向上に努めます。	○【上下水】 平成30年度で完了したため、令和元年度取組予定なし ○【建設】 美装化工事(御園橋、河合橋、賀茂大橋)	実施済み又は実施中	○【上下水】 平成30年度で完了したため、令和2年度取組予定なし ○【建設】 美装化工事(御園橋、河合橋、賀茂大橋)

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性3	景観を保全し再生する	○		106	★公共工事の現場において、文化芸術により、イメージアップを図るための取組 工事現場の仮囲いを利用した「青空美術館」の開催や京都市美術館の工事現場における文化芸術の活用など、工事現場のイメージアップを図るとともに、芸術活動の発表の場として活用します。	○【美術館】 美術館再整備工事用の仮囲いを利用して、文化芸術等の情報発信を行う。(～令和元年10月) ○【上下水】 道阿弥幹線公共下水道工事の現場において、仮囲いを利用した「青空美術館」を開催	実施済み 又は実施中	○【上下水】 西部1号2号分流幹線(その1)公共下水道工事の現場において、仮囲いを利用した「青空美術館」を開催予定
方向性3	景観を保全し再生する			107	・無電柱化の推進による都市災害の防止と歴史的景観の向上	○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 ○無電柱化事業の推進	実施済み 又は実施中	○歴史的風致形成建造物等の指定拡大により、歴史的建造物の保全・再生に取り組むとともに、歴史まちづくりを推進 【道路環境整備課】 ○無電柱化事業の推進
方向性3	景観を保全し再生する			108	・京都の景観をかたちづくる屋外広告物制度の適正な運用	○京都の景観をかたちづくる屋外広告物制度の適正な運用	実施済み 又は実施中	○京都の景観をかたちづくる屋外広告物制度の適正な運用
方向性3	文化施設を充実する	○		109	★★京都市美術館の再整備の推進 京都市美術館は、全国で2番目の公立美術館として開館し、市民の皆様をはじめ、多くの人々に親しまれてきました。 昭和8年の開館以来初めてとなる大規模改修により、本館を全面的に改修するとともに、地下空間も活用しつつ、新館を建設し、現代美術などの新しい芸術表現に対応する環境を整備することで、外観・機能ともに、日本を代表する美術館としての価値を高めます。 また、岡崎エリア全体の回遊性、一体性を高め、カフェやミュージアムショップを新設することで賑わいを創出し、より多くの方が訪れる美術館を目指します。	○再整備工事本工実施(本館及び新館工事) ○建物引渡し(令和元年10月)	実施済み 又は実施中	○リニューアルオープン(令和2年5月26日)
方向性3	文化施設を充実する	○		110	★ロームシアター京都を拠点とした劇場文化の創造・発信 昭和35年4月に開館して以来、「文化の殿堂」として親しまれてきた京都会館は、ネーミングライツを活用して再整備を行い、平成28年1月に「ロームシアター京都」としてリニューアルオープンしました。 “京都に「劇場文化」をつくる”をコンセプトに、新たな公共施設のモデルとなるよう取組を進めます。	○事業の実施	実施済み 又は実施中	○事業の実施
方向性3	文化施設を充実する	○		111	★京都市立芸術大学の移転整備 京都市立芸術大学は、我が国随一の芸術の学びと創造の拠点として歴史と伝統を重ねてきましたが、世界に冠たる芸術大学として一層飛躍するため、京都の玄関口・京都駅の東部エリアへの移転整備を進めます。また、この移転整備を契機として、京都駅の東側に、「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出を目指します。	○京都市立芸術大学新キャンパスの実施設計の実施 ○移転整備プレ事業の実施 ・元崇仁小学校の教室を改装した崇仁ギャラリーにおいて、「教室のフィロソフィー」を7回開催。 ・芸術資源研究センターのプロジェクト「崇仁小学校の記録と記憶を継承するプロジェクト」を実施し、元崇仁小学校を会場として「崇仁小学校展」を開催。	実施済み 又は実施中	○京都市立芸術大学の新たなキャンパス建設工事の実施 ○移転整備プレ事業の実施 崇仁地域近郊で開催される地域行事等への参加(※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、規模を縮小して実施予定)
方向性3	文化施設を充実する			112	・文化芸術活動を支え、発表する場(拠点)の整備等	○再整備工事本工実施 ○建物引渡し(令和元年10月)	実施済み 又は実施中	○美術館リニューアルオープン(令和2年5月26日)
方向性3	文化施設を充実する			113	・文化芸術関連機関・施設の交流や連携の促進	○令和元年度の京都ミュージアムズ・フォー事業 ・連携講座「日展から生まれた京都の名作—新しい常設展に向けて」 実施日:1月3日 ・スタンプラリー 実施期間:10月1日～11月30日	実施済み 又は実施中	○令和2年度の京都ミュージアムズ・フォー事業 ・連携講座「武田五一と岡崎」 実施日:2月14日 ・スタンプラリー 実施期間:10月1日～11月29日
方向性4	文化の力で京都から地方創生を実現する	○		114	★★文化庁の全面的な移転に向けた取組の着実な推進 オール京都で、受入環境の整備や機運の一層の醸成に取り組むとともに、文化庁はもとより、大学等の関係機関、全国の自治体等と連携し、文化の力で京都から地方創生を実現します。 とりわけ、先行移転に伴う文化庁の組織である「地域文化創生本部」と連携し、新たな政策ニーズに対応することで、広がりや深みのある文化行政を推進します。	○文化庁の受入体制の整備 ○シンポジウムやセミナー等による機運の醸成 ・文化庁京都移転推進シンポジウムの開催(12月) ・京都市内市町村における意見交換等を通じた文化庁移転推進事業(丹後地域)の実施(1月) ・連続講座「プロフェッショナルに聞く!～文化庁移転と文化芸術の未来～」の開催(6月、9月、12月) ○その他、各種事業や広報等を通じた文化庁の京都移転・新たな文化行政の発信 ・文化庁ウェルカム動画の制作・配信(3月) ○文化庁移転連続講座の実施(9月、12月、3月)	一部を除き、実施済み 又は実施中	○文化庁の受入体制の整備 ○文化庁の京都移転に係る機運の醸成 ○文化庁移転連続講座の実施(2月)
方向性4	文化の力で京都から地方創生を実現する	○		115	★文化を通じた全国の地場・伝統産業の振興など地方創生を進めるモデル事業の先行的な実施 全国の自治体、経済界、大学等と連携しながら、日本の文化を振興し、全国の地場・伝統産業の振興など、文化を通じて日本の地方創生を進めるモデル事業を実施します。	○文化による社会の活性化や地方創生、国際交流への貢献を目指し、本市の文化政策をあらゆる関連分野と融合・連携させていく、全庁横断的な体制としての「文化首都・京都」推進本部会議を開催した(9月)。 ○推進本部の下部組織として、「第1部会 文化・観光・経済の融合」と「第2部会 文化芸術を活かしたまちづくり」を開催し、具体的な議論を行う。	実施済み 又は実施中	○文化による社会の活性化や地方創生、国際交流への貢献を目指し、本市の文化政策をあらゆる関連分野と融合・連携させていく、全庁横断的な体制としての「文化首都・京都」推進本部会議を開催する。

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性4	文化の力で京都から地方創生を実現する	○		116	★多様な文化活動の場における文化庁のサテライト機能(文化芸術関係者・団体の交流・連携の創出等)を果たすための取組の推進 二条城等の文化財や、京都芸術センター等の文化活動の現場を、幅広い文化芸術団体や芸術家が集い、交流する文化庁のサテライト機能(交流・連携の創出)を果たす場として活用し、京都府・経済界との連携を図りながら、新たな文化行政の裾野を拡大することに貢献します。	○これまでの調査結果を踏まえ、本市における文化庁サテライト機能を更に充実させるための方策について検討を進めた。	企画・構想・設計段階	○これまでの調査結果を踏まえ、本市における文化庁サテライト機能を更に充実させるための方策について検討を行う。
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		117	★京都芸術センターを拠点(ハブ)としたアーティスト・イン・レジデンスによる国内外との文化交流の推進 文化芸術都市・京都から、世界中のアーティストをつなぐ窓口としての役割を果たすため、文化庁や関係機関と連携し、京都芸術センターにおいて国内外のアーティスト・イン・レジデンスの活動をつなぐ役割を果たします。	○京都芸術センターでアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業を実施 ○京都芸術センターで、AIR Alliance Platformを実施 ○京都芸術センターでAIR総合webサイト「AIR-J」を開設	実施済み又は実施中	○京都芸術センターでアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業を実施 ○京都芸術センターで、AIR Alliance Platformを実施 ○京都芸術センターでAIR総合webサイト「AIR-J」を運営
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		118	★ICOM(国際博物館会議)京都大会2019の開催の推進 世界各国からの博物館専門家の参加が見込まれ、博物館を中心とする文化イベントとして大きな成果が期待されるICOM京都大会2019が開催されることにより、京都市内博物館施設連絡協議会(京博連)に加盟する博物館との連携を強化するとともに、本市の伝統産業や観光の活性化を推進します。	○大会開催記念イベント事業(市単独事業) ・『大河ドラマ「いだてん」出演者による対談とスポーツイベント』の実施(6月) ・「超・異次元鼎談」の実施(8月) ○大会開催記念イベント事業(ICOM京都推進委員会事業・市府共管事業) ・ミュージアム各館において市民・府民が楽しめる大会開催イベント「ミュージアムプレイベント」を実施(7~9月) ○ICOM日本委員会等関係団体との調整・対応 ○ICOM京都大会を記念し、一般社団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパンと連携し、「時を超える:美の基準」展を二条城にて開催(8月~9月)	実施済み又は実施中	○ICOM京都大会レガシー継承事業の実施 ・「京都の匠展」の実施(令和3年1月~3月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の事業を中止 ・「大河ドラマ『麒麟がくる』スタンプラリー」の実施 ・「大河ドラマ『麒麟がくる』トークショー」の実施 ・「夏の京都のミュージアム2020」の実施 ・「多言語化対応研修会」の実施
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		119	★東アジア文化都市2017京都の開催 「東アジア文化都市」は、日本、中国、韓国の各国から選定された3都市において、現代芸術や伝統的な文化芸術等に関連する、多彩な文化芸術イベントや文化交流を実施する事業で、京都市は、中国・長沙市、韓国・大邱広こういき域市とともに平成29年(2017年)の開催都市に選定されています。平成29年(2017年)には京都で、これまでの東アジア文化都市の開催都市等の首長が集まる「東アジア文化都市サミット」を初めて開催します。	○青少年交流プログラム及び中韓文化芸術団体の相互交流の実施	実施済み又は実施中	○今年度は現在の情勢を踏まえ、中国・長沙市、韓国・大邱広域市と情報交換等を行う。
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		121	★スポーツ・文化・ワールド・フォーラムをキックオフとした京都文化カプロジェクト2016-2020の各種事業の展開 平成32年(2020年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、京都から日本文化の真髄と深い精神性を世界に向けて発信する多彩な文化の祭典を開催するため、「京都文化カプロジェクト実行委員会」において、実施計画を策定し、事業を実施します。	○くらしの文化体験事業の開催(リーディング事業)(9月~10月) ○お稽古教室の情報発信(リーディング事業)(9月~) ○国際交流茶会の開催(5月) ○『大人のインターンシップ(文化交流)』事業(3月~) ○イベントガイドの発行(8月, 12月) ○第4回推進フォーラムの開催(1月) ○機関誌第4号の発行(3月) ○ポータルサイトの運営 ○beyond2020プログラム認証	実施済み又は実施中	○『大人のインターンシップ(文化交流)』事業(4月~) ○ポータルサイトの運営 ○beyond2020プログラム認証
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○		122	★大政奉還150周年記念プロジェクトの実施 平成29年に、二条城での大政奉還から150年を迎えることから、幕末維新にかけて京都で活躍した先人たちの歩みを改めて振り返り、再評価し、全国にその歴史的価値をアピールするとともに、先人たちと縁を持つ都市と、相互に交流・連携を図る事業を実施します。	○平成29年度に終了	実施済み又は実施中	○平成29年度に終了
方向性4	国内外との文化交流を促進する	○	○	123	★創造都市ネットワークとの連携(◎新規) 創造都市ネットワーク日本の加盟都市との連携による国内の創造都市との交流を深めるとともに、ユネスコ創造都市ネットワークの加盟申請に向けた取組を進めます。	○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を見据えて、東アジア文化都市交流事業や世界歴史都市会議など、文化を基軸とした都市間交流に取り組んだ。	一部を除き、実施済み又は実施中	○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟を見据えて、東アジア文化都市交流事業や世界歴史都市会議など、文化を基軸とした都市間交流に取り組む。 ○創造都市ネットワーク日本(CGNJ)の事務局として創造都市に関するあらゆる情報・知見・経験交流のハブ機能を担い、本市の先進的取組を全国に発信するとともに文化庁との連携を深める。

第2期 京都文化芸術都市創生計画						令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記していません。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性4	国内外との文化交流を促進する			124	・留学生の本市文化事業への参加等留学生による文化芸術交流の推進	<p>○市立芸大での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換留学の実施(芸大からの学生派遣, 提携校の学生受入) ・学生展の開催 <p>○市民狂言会等で留学生を招待</p> <p>○京都文化カプロジェクト国際交流茶会への参加案内(5月)</p> <p>○留学生優待プログラムにおいて, 文化施設への入場優待やイベントへの無料招待を実施</p> <p>○市立芸大での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換留学の実施 芸大からの学生派遣(美術5名、音楽1名) 派遣期間: 美術8~1月、音楽8月~3月 提携校の学生受入(美術13名、音楽1名) 受入期間: 前期4~7月、後期10~12月 <ul style="list-style-type: none"> ・留学生展の開催 ギャラリー@KCUAにて11月28日~12月8日実施 ・市民狂言会等で留学生を招待 → 留学生招待回がコロナで中止となったため削除、令和2年度に再エントリー。 ・京都文化カプロジェクト国際交流茶会(5月23日~26日)への参加案内 ・留学生優待プログラムにおいて, 文化施設への入場優待やイベントへの無料招待を実施 	実施済み又は実施中	<p>○市民狂言会等で留学生を招待予定</p> <p>○留学生優待プログラムにおいて, 文化施設への入場優待やイベントへの無料招待を実施</p> <p>○市立芸大での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交換留学の実施(芸大からの学生派遣, 提携校の学生受入) ・留学生展の開催 ・市民狂言会等で留学生を招待 ・留学生優待プログラムにおいて, 文化施設への入場優待やイベントへの無料招待を実施
方向性4	国内外との文化交流を促進する			125	・姉妹都市, 世界歴史都市連盟加盟都市等との文化交流事業の推進	<p>○パリ市との共同で京都とパリの職人やアーティストが交流してアート市場を志向した作品を創作する「京ものアート市場開拓支援事業」を実施。ロンドンで開催のアートフェアへ出展(2月)</p> <p>○京都府宇治市との交流</p> <p>○伝教大師最澄1200年魅力交流委員会への参画(京都・滋賀など最澄ゆかりの自治体との交流)</p> <p>○明智光秀AI協議会への参画(京都・滋賀・岐阜など明智光秀ゆかりの自治体との交流)</p> <p>○第28回民族の文化にふれる集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 令和2年2月1日(土) 午後1時30分~ ・場所: 京都市呉竹文化センター ・内容: 京都市立学校及び京都市内の民族学校の小・中学生による, 韓国・朝鮮をはじめとする様々な国の文化・伝統に関わるステージ発表(踊りや楽器演奏等)及び作品展示。 <p>○多文化学習推進プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市立小・中・小中学校において, 外国人を講師として招き, 多様な言葉や文化にふれる取組を実施した。 <p>○土曜コリア教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月から2月までの土曜日に全6回実施。 ・場所: 総合教育センター ほか (最終回は第28回民族の文化にふれる集いに参加) ・内容: 参加児童の発達段階やニーズを踏まえ, 韓国・朝鮮の言葉, 遊び, 音楽等を通して, 韓国・朝鮮の生活や文化にふれるとともに, 参加児童の交流を深めた。 <p>○京都・ボストン姉妹都市提携60周年記念事業</p> <p>①京都市内で実施した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米の国際交流・文化比較を主題としたフォーラム ・ボストンの魅力やアメリカの音楽等を紹介するイベント <p>②ボストン市内で実施した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボストン日本祭りにおけるマンガミュージアムのワークショップ ・ボストン子ども博物館における京都の陶芸家ワークショップ <p>○西郷菊次郎翁を縁とした共同宣言に基づく交流</p> <p>○ロシア, カザン市において2019年度世界歴史都市連盟理事会を実施</p>	実施済み又は実施中	<p>○会津若松市との交流</p> <p>○新潟市との交流</p> <p>○京都府宇治市との交流</p> <p>○伝教大師最澄1200年魅力交流委員会への参画(京都・滋賀など最澄ゆかりの自治体との交流)</p> <p>○明智光秀AI協議会への参画(京都・滋賀・岐阜など明智光秀ゆかりの自治体との交流)</p> <p>○多文化フェスティバル(仮称)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 令和3年1月16日(土) ・場所: 総合教育センター ・内容: 京都市立学校及び京都市内の民族学校の小・中学生による, 様々な国の文化・伝統に関わる発表・交流。 <p>○多文化学習推進プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市立小・中・小中学校において, 外国人を講師として招き, 多様な言葉や文化にふれる取組を実施中。 <p>○土曜コリア教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月から1月までの土曜日に全5回実施。 ・場所: 総合教育センター ほか (最終回は多文化フェスティバル(仮称)に参加) ・内容: 参加児童の発達段階やニーズを踏まえ, 韓国・朝鮮の言葉, 遊び, 音楽等を通して, 韓国・朝鮮の生活や文化にふれるとともに, 参加児童の交流を深める。 <p>○ロシア, カザン市において開催予定であった第17回世界歴史都市会議が延期され, 別途, 理事都市の会議とウェブ上での都市間交流を検討中。</p> <p>○京都・グアダハラハラ姉妹都市提携40周年記念事業</p> <p>京都市内で実施する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコの伝統的な楽団であるマリアッチ集団による演奏や, メキシコ料理を楽しむことができるイベント「フィエスタメヒカーナ京都2020(仮称)」を開催予定。 <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により, 代表団派遣など, グアダハラハラ市内での事業については, 中止となる可能性あり。</p>
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		126	★文化・観光に関する情報の一元的把握及び入場券等を販売するWEBシステムの構築 文化芸術情報サイトにおける海外向けのページのコンテンツを充実するとともに, 文化芸術情報・観光情報の相互にアクセスすることができるなど, 国内外からの観光客に, より手軽に分かりやすく, より質の高い文化芸術情報を提供します。利用者にとって必要な情報をまとめる仕組みを構築するとともに, 文化芸術イベントの入場券等を販売するためのWEBシステム構築の検討などを進めていきます。	<p>○KYOTO ART BOX を継続して運用</p> <p>○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto City Official Travel Guide」において, 多言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p> <p>○多言語オフィシャルWEBサイトのデザイン刷新, コンテンツの充実(6言語)</p> <p>○京都観光公式ホームページ「京都観光Navi」を充実し, 京都の文化体験等に係る情報を分かりやすく発信</p>	実施済み又は実施中	<p>○KYOTO ART BOX を改修し継続して運用</p> <p>○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto City Official Travel Guide」において, 多言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施</p> <p>○京都観光公式ホームページ「京都観光Navi」を充実し, 京都の文化体験等に係る情報を分かりやすく発信</p>

第2期 京都文化芸術都市創生計画					令和元年度実績(令和2年3月末時点) ※昨年度、回答いただいた内容の令和元年度取組予定から転記しています。	令和元年度末時点の進捗状況	令和2年度取組予定	
方向性	見出し	重要	新規	施策番号	施策・事業名及び内容 (★は重要事業、・は推進施策、◎は新規事業) ※第2期計画内容			
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		127	★京都芸術センターを中心とした情報機能等の充実 京都は、多種多様な文化芸術に関する活動が盛んに行われている都市です。これらの情報を感度よく収集し、適切に編集し、必要な所に必要な時に届くよう発信します。 具体的には、京都芸術センターの持つ「情報センター機能」を基盤としつつ、同センターが運営する「KYOTO ART BOX(京都アートボックス)」を効果的に活用することで、情報の収集・発信機能を充実します。	○京都文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会を実施 ○KYOTO ART BOX を継続して運用	実施済み 又は実施中	○京都文化芸術コア・ネットワークを継続して運用(25年度～)。例会を実施 ○KYOTO ART BOX を改修し継続して運用
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		128	★京都館の活用、海外情報拠点での情報発信など、広域的な情報発信の推進 京都館の移転を契機に、国内外の人々を魅了し、京都ファンを増やす産業・文化の魅力発信力を一層強化します。	○「京あるきin東京」において、東京都内各所で京都にゆかりのある企業や大学等が、京都の文化芸術、伝統産業など、京都の魅力を発信する様々なイベントを実施(2月～3月)	実施済み 又は実施中	○「京あるきin東京」において、東京都内各所で京都にゆかりのある企業や大学等が、京都の文化芸術、伝統産業など、京都の魅力を発信する様々なイベントを実施予定 ○外国人向け京都観光公式ホームページ「Kyoto City Official Travel Guide」において、多言語で京都の文化体験等に係る情報発信を実施 ○京都観光公式ホームページ「京都観光Navi」を充実し、京都の文化体験等に係る情報を分かりやすく発信 ○JNTO海外拠点とも連携を取りながら、今年度より海外12箇所で京都観光のPR活動等を実施
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		129	★京都観光振興計画2020や京都市MICE(マイス)戦略2020と連携した文化芸術に関する情報の効果的な発信 文化事業等を企画し、情報を発信するためには、観光客に対しても効果的な取組を進める必要があります。 具体的には、「京都市版DMO※24」と連携したコンテンツの発掘や磨き上げ、観光プロモーション等により対象者に届いた発信をすること、本市の観光案内所、民間事業者等(宿泊施設、鉄道会社等)と連携し、文化事業等を効果的に発信することに加え、京都の文化芸術は伝統から現代まで幅広いため、ニーズに応じた効果的な情報発信を展開します。 また、MICEの振興により文化芸術都市・京都の都市の活力を向上させ、市民生活や経済の活性化、京都観光の「質の向上」につなげます。	○地域の隠れた観光資源を紹介する、京都産木材製駒札設置の推進 ○QRコードやWEBサイトを活用した、よりわかりやすく多言語化した新たな駒札(新型駒札)を設置 ○京都府宇治市との交流 ○伝教大師最澄1200年魅力交流委員会への参画(京都・滋賀など最澄ゆかりの自治体との交流) ○明智光秀AI協議会への参画(京都・滋賀・岐阜など明智光秀ゆかりの自治体との交流) ○寺院や神社等と連携した光のイベントを実施 ○京都らしいMICE開催支援補助制度により、芸舞妓等の派遣や伝統産業製品購入等に対する支援を実施 ○「京都エクスカーションガイド」を活用したMICE誘致 ○「MICE向け京都伝統産業製品貸出制度」の活用による、京都の伝統産業製品の購入促進。 ○5,000人規模への拡充整備に係る国家予算要望の実施 ○リニア中央新幹線の京都誘致及び北陸新幹線の早期整備の国家予算要望の要望と市民等への広報啓発活動を実施	実施済み 又は実施中	○QRコードやWEBサイトを活用した、よりわかりやすく多言語化した新たな駒札(新型駒札)を設置(多言語未対応の駒札の多言語化含む) ○会津若松市との交流 ○新潟市との交流 ○京都府宇治市との交流 ○伝教大師最澄1200年魅力交流委員会への参画(京都・滋賀など最澄ゆかりの自治体との交流) ○明智光秀AI協議会への参画(京都・滋賀・岐阜など明智光秀ゆかりの自治体との交流) ○寺院や神社等と連携した光のイベントの実施 ○京都らしいMICE開催支援補助制度により、芸舞妓等の派遣や伝統産業製品購入等に対する支援を実施 ○「京都エクスカーションガイド」等を活用したMICE誘致 ○「MICE向け京都伝統産業製品貸出制度」の活用による、京都の伝統産業製品の購入促進。 ○国際会館多目的ホールの5,000人規模への拡充整備に係る国家予算要望の実施 ○リニア中央新幹線の京都誘致及び北陸新幹線の早期整備の国家予算要望の要望と市民等への広報啓発活動を実施
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる	○		130	★本市職員の文化力を高め、文化の魅力を伝える担い手となるための取組の実施 国内外に京都の魅力を伝えるときに、市民はもとより、様々な人々と交流する機会が多い本市職員、子どもの文化的素養を育む教員が果たす役割は重要です。職員等が率先して、京都の魅力を伝える担い手となるよう、文化的素養を持った者の採用や、自己研鑽の促進及び研修の実施等により、職員等の文化力を高めます。	○学校教職員を対象とした、茶道・華道をはじめとする伝統文化や伝統産業についての講義や実技体験等、京都の伝統文化・産業に直接触れる研修を通して、伝統に対する理解と認識を深め、子どもの文化的素養を育む教職員としての資質・指導力の向上を図る研修を実施した。 新規採用職員研修において、昨年度に引き続き「文化施策」の科目を実施(平成31年度は263名受講) ○新任部長級研修、新任課長級研修、新任係長級研修において、昨年度に引き続き「文化力の向上」の科目を実施(平成31年度は延391名が受講) ○新規採用職員研修及び新任部長級職員研修において、日本を代表する伝統文化への理解を深めることを目的として、昨年度に引き続き「茶道」の科目を実施(平成31年度は延303名が受講) ○文化庁の京都への全面的移転を踏まえ、「文化首都・京都」の職員にふさわしい知識や教養を身に付けることを目的として、昨年度に引き続き「文化力講座」を自主研修として実施(平成31年度は「いけばな体験」を46名、「居合道体験」を28名が受講) ○京都の伝統文化や生活文化に触れ、「京都を知る。」ことにより、本市職員にふさわしい「京都力」や「文化力」を身に付けるとともに、より良質なサービスを提供することを目的として、交通局職員を対象とした文化力向上講座を自主研修として実施	実施済み 又は実施中	○学校教職員を対象とした、茶道・華道をはじめとする伝統文化や伝統産業についての講義や実技体験等、京都の伝統文化・産業に直接触れる研修を通して、伝統に対する理解と認識を深め、子どもの文化的素養を育む教職員としての資質・指導力の向上を図る。(コロナ感染症対策のため実施は未定) ○京都の伝統文化や生活文化に触れ、「京都を知る。」ことにより、本市職員にふさわしい「京都力」や「文化力」を身に付けるとともに、より良質なサービスを提供することを目的として、交通局職員を対象とした文化力向上講座を自主研修として実施 ○新規採用職員研修において、昨年度に引き続き「文化施策」の科目を実施 ○新任部長級研修、新任課長級研修、新任係長級研修において、昨年度に引き続き「文化力の向上」の科目を実施
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる			131	・ICT(情報通信技術)の活用によるタイムリーな情報発信の推進	○KYOTO ART BOXを継続して運用(ソーシャルメディアサービス、スマートフォン等の携帯情報端末等への対応) ○京都・和の文化体験の日でSNSを運用 ○留学生スタディ京都ネットワークが運営する、京都留学総合ポータルサイト「Study Kyoto」における文化芸術情報の発信 アクセス件数:164,452件 ○学生広報部ウェブサイトなどを活用した大学のまち京都の魅力発信(京都学生広報部ウェブサイト「コトカレ」にて京都の魅力を発信) 年間PV数:660,468PV	実施済み 又は実施中	○KYOTO ART BOXを改修し継続して運用(ソーシャルメディアサービス、スマートフォン等の携帯情報端末等への対応) ○京都・和の文化体験の日で情報冊子をWEB公開予定 ○留学生スタディ京都ネットワークが運営する、京都留学総合ポータルサイト「Study Kyoto」における文化芸術情報の発信 ○学生広報部ウェブサイトなどを活用した大学のまち京都の魅力発信(京都学生広報部ウェブサイト「コトカレ」にて京都の魅力を発信)
方向性4	京都の文化芸術を伝える・魅せる			132	・障害のある方のための文化芸術情報発信の工夫	○点訳奉仕員、音訳奉仕員、手話通訳者の養成	実施済み 又は実施中	○点訳奉仕員、音訳奉仕員、手話通訳者の養成